愛國婦人會機關

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

愛國婦人

毎月三日二十日發行

一部金參錢　一ヶ月金六錢　半年分參拾六錢　全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
發行所　東京麹町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

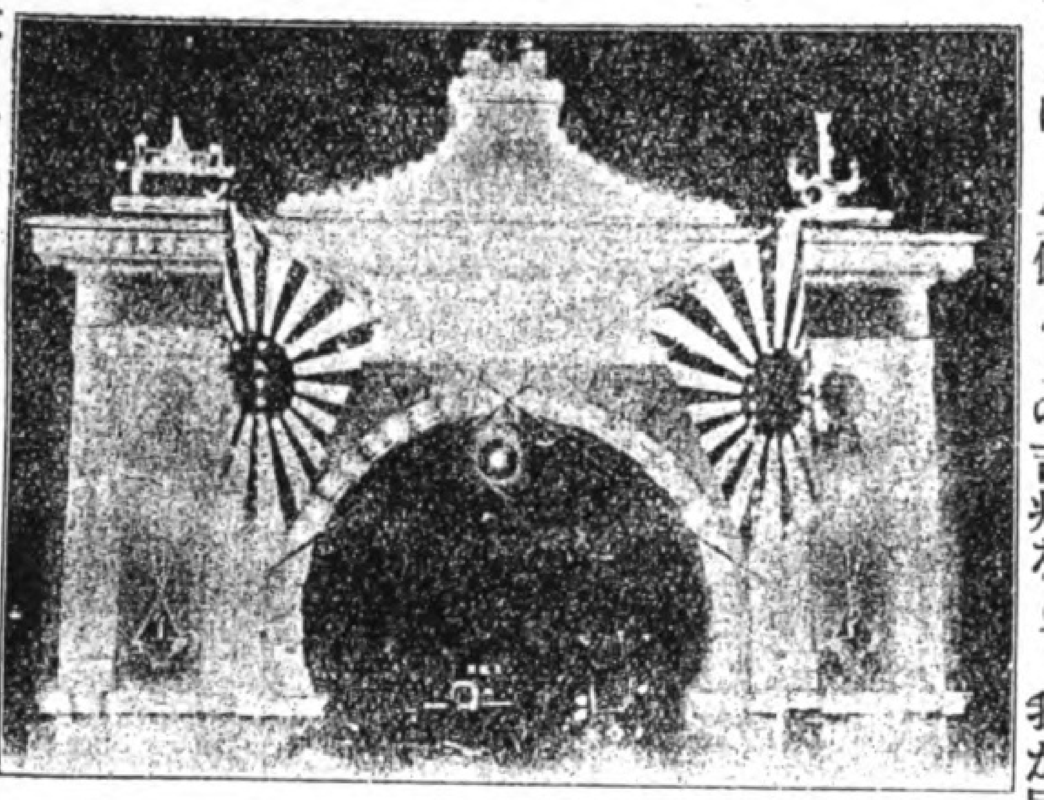
◎天長節

日本は世界一のことを爲す國なり、世界一のことを爲さねば承知せぬ國なり。これは今日の日本人が一般に有する信念にして、たとひ平氣に暮らせるものにても、たゞ一事を話さば、如何にもと合點せざるを得ず。一事とは何ぞや、日露戰爭に於ける我が赫々たる勝利、全勝これなり、世界の認め敵も認めざるを得ざる日本の力これなり。我等は有體の所從來の日本人にこれだけの力が潜み居らんとは思はざりき、而して見よ今日の日本人に於て、我等に於て、其力が最大無比の發現をなせるを。これ天爲なるかはた人爲なるか、我れ得てこれを知らず、唯知る所のものは、其力の出る源あることなり、これを信じ之を念ずれば、勃然として大勇猛心を生じ、我れながら驚かるゝの力と働の出づる信念の本據あることこれなり。そは畏れ多くも我が叡聖文武なる天皇陛下にて在すなり、陛下は實に「力」そのもの、日本國民の信念歸依の本據にて在すなり、今回の大勝利は陛下の賜なり、陛下を念じ陛下に依りて働くを得たる國民の業績なり。陛下は日の御光なり、國民たゞこれに依りて活き、たゞこれに依りて榮ふ。

本日は天長節なり、わけては日本が開闢以來の大活動を爲し、前古無比の大勝利を得て、最も盛んに最も派手に國威を世界に宣揚したるその年の天長節なり。我が國民は此日を祝はずして何の日をか祝ふべき。目あるものは見よ、如何に軒端の日の御旗の威勢よく風にひらめき空を飾るを、耳あるものは聽けよ、如何に國民が大御代の萬歳を唱へて、聲の山にどよみ地に響くを。これを見れば病者の顔にも輝きあり、これも聽かば惱める者の憂も跡なく消ゆべし。天長節は天長節なり、我等臣民は何も角も打ち忘れて一意専心、聖壽の無窮を祝し奉り、今日の一日を天上の一日として、樂しく嬉しく暮さんと欲するものなり。

◎日の御旗

日の御旗には如何なる因縁來歴あるか之を知らず、知らずと雖もたゞ見たゞけにて、愉快になつかしく、愛らしく、氣分の晴々するは、この御旗なり。外國に在るものもこの御旗を見れば、故郷に在るが如く感じ、戰爭の混亂最中にも、この御旗を見れば、我が國の春に逢へるが如き心地す。日の御旗は日本國民の命、希望の符號なり。自國の旗印なるが故に褒むるにはあらねど、廣き世界の國々の旗印の多きその中にも、日の丸ほど簡單にして偉大なるものはあらず、圓形は渾然無礙融通圓滿の相を示す、圓は形の粹、相の理想なり。太陽は諸星の王にして、地球生物の運命一に懸て太陽にあり、太陽なくんば地上に熱なく、熱なくんば動物も植物も出來る氣遣なし、木を燃して熱を生じ、動物の身體に溫みある、みなこれ太陽の熱を吸收したるものなり。石炭は植物の化石なれば、太陽なくんば植物なく從て石炭なし、石炭なくんば汽船も汽車も動かず、工場の機關も据えたまゝなり、即ち太陽なくんば吾々人間が今日其恩慶に浴する文明の賜物の要部は成立せず、第一人間が成立せぬなり。實に圓形といひ太陽といひ、實に大したるものといふべし。而して我が國はその圓形と太陽を國の符號として、緣起として、こゝに日の御旗を有するなり。誰れの考へかは知らねど、日の丸を國の旗印とせるは實に非凡慧眼なる大天才の着想といふべし。將來何處まで伸ぶるか測り知るべからずといふ日本が、斯る國旗を有することは、抑何よりの吉兆なり。我が國民は既に斯る目出度き國旗を有す、即ち之を先頭に振りかざして勇ましく活動行進せざるべからず、必ず國旗に對して引けを取ること勿れ、益々其光輝を發揚せざるべからず、日の御旗は偉大なる符號なり、皷舞なり、希望なり、日の御旗の下に立つの人民は幸なるかな。想に本日の天長節には内地は勿論、臺灣、千島、樺太、朝鮮、滿洲を始め、一人にても日本人の居る所には、換言すれば世界至る處に此の目出度き日の丸の國旗は風になびきて軒端に飜へり住民皆歡呼して「君が代」を謡ひ陛下の萬歲を唱へ、國運の隆盛を祝しつゝあるを。あゝ日本が此處までになつたかと思へば何とも愉快の至りなり。此處まで行つた日本なり、これからが愈々力の入れ所、先頭たる日の御旗の招きに後れざるやう、根限り精一杯に働きに働いて、年一年と盛大なる天長の佳節を、我々國民は祝さざるべからず。



凱旋門　其一（新橋）

◎世界一

軍艦が儀式等の爲に集合することは、別に珍らしき事にあらず、然れとも二百艘近き軍艦の集まることは、その何の目的たるを問はず、殆んど前例なきとなり、よしそれに近きものありたりとするも、たゞ拵へただけの飾りの軍艦が集れるのみ。その幾度も壯烈なる實戰を經て、人も船も砲火の場數を踏みたる活きた軍艦計り、二百艘も揃ひも揃ふて一所に集合し、勝角力が名乘を受けて控へたるが如く、威風堂々控へたるの有様は、前古未聞世界一と云ふの外なし。事は先月の二十三日外國の事でも大した事なるに現在我が國の東京灣に起りし出來事なり。當日陛下には凱旋の艦船列を正して並び分捕の戰闘艦共今は名さへ御國の名を戴きて、恭しく末座に控へたる間を、御召艦波ゆるやかにうたせ玉ひて、龍顏麗はしく閲し玉ふ、何等壯烈偉大の光景ぞや、傳へ聞くアレキサンダー、ナポレオンの凱旋も思ひ合されて、歡喜の極涙の催さるゝほどなり。

◎進めば進む世

米國の黒船四艘が六百人足らずの軍勢を載せて、相州浦賀を訪れたるに、膽を潰して、上下の大騷動を惹起したるは、僅か五十餘年の昔なる今日、一萬五千噸の一等戰闘艦より、巡洋艦、驅逐艦、水雷艇の數々を海に浮べて、二百の軍艦伊達には持たぬの面魂、天晴とも何とも云ひやうなし。進めば進む世なるかな。斯る進み方は世界無類のレコード破り、これから五十年に今の日本が何の位になるや、片唾を呑んで世界が見物して居るなり、しつかり遣るべし、五千萬の兄弟姉妹。今日は天長節なり、斯る考や何やにてたゞ無上に此日は目出度く愉快なり。

◎菊花

菊の花こそまたなくめでたけれ、其姿、色の様々なる、よく國民萬の趣を表せるものといふべし。其小なるもの大なるもの、優しきもの强きもの、美しきもの武きもの、智あるもの情あるもの、亂髪もあれは振下げ髪もあり、壯士もあれば姫君もあり、立つて舞ふが如きもの、坐して考ふるが如きもの、戰ふもの、狂ふもの、泣くもの笑ふもの、戰闘艦の泰然たるもの、水雷艇の敏捷なるもの、大禮服のもの、尻切り半纒のもの、千狀萬態舉げ盡すべからず、されど何れも馥郁たる芳香に日本人の心の薫を移さゞるはなし、其一株千莖の花は民心統一の様を表はし、一輪咲きの大花は個人の獨立自重の趣を示す。櫻は潔白にして未練なく、菊は持重にして忍耐に富む、櫻と菊とあつて、こゝに日本人の性格は遺憾なく代表せらるゝものといふべし。

◎日本の名花

今や菊は日本の名花として、外つ國にも移し植えられて、鑑賞一方ならず、これ日本國力膨脹の前兆、己れ先づ行きて、故里人の來るを待つ。菊の花こそゆかしともゆかしけれ。

◎軍人の今日

日露の大戰爭も軍人諸氏の非常なる努力により、全勝の大成績を舉げて、平和の局を結べる年の始ての天長節、滿洲の地に軍艦の上に、定めて諸氏は滿足にて此の一日を祝さるゝことなるべし。我等はこゝに陛下の萬歲を三唱すると共に、軍人諸氏の健康を祝するものなり。

本號には附錄として岩倉會長、大山理事、黒田、清浦、東郷、奥村、武田、稅所、三輪田評議員の肖像を添ふ

電話番町五百二十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎戰後婦人の覺悟

評議員　下田歌子

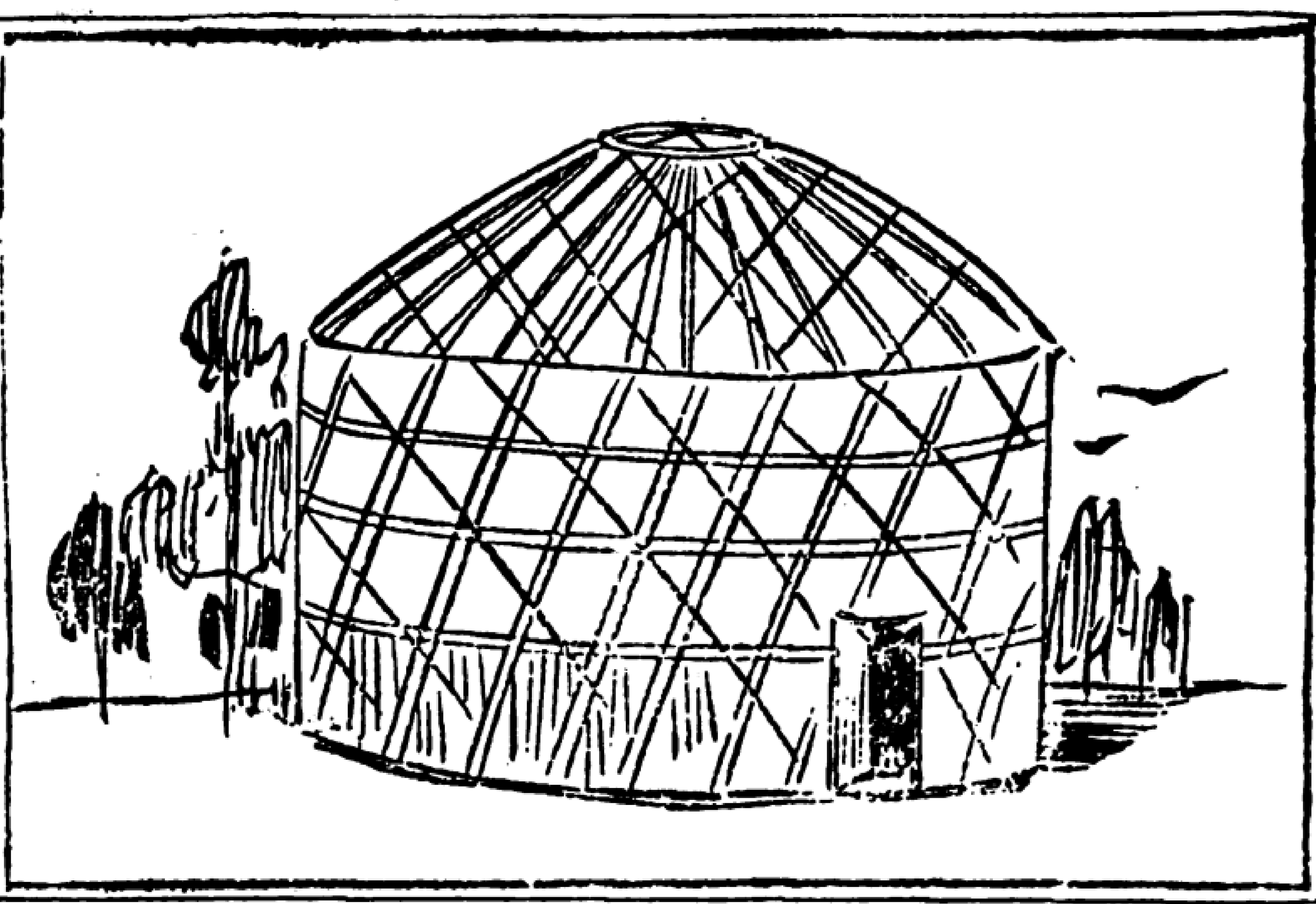
戰雲漸く收りて、平和の光來復せる今日以後、わが同胞姉妹の執るべき事は、定にそれ一にして足らざるべしと雖も、先づ我が愛國婦人會の爲に云はんとせば、余は戰時の昔日よりも猶一層奮勵努力せざる可からざることを希ふものなり。何となれば、人は、すべて非常の時に際すれば、非常の覺悟の起り非常の力も出て來るものなるが故に、わが會の如き、戰時の社會の、立者なる軍人と近接の關係ある事業の如きは、勢ひ、其援助も同情も多きを常とす。然るに、一旦平時に歸すれば、何と無く、其感じの緩慢なるが如き傾きあるを免がれず。且其力の激して以てあがれるが如くならず。況んや、わが民性は稍もすれば、火の如く燃えて而して消ゆるに速かなるの癖なきを保せず。しかも此軍人遺族及び癈兵等援助の必要は、比較的一般同情者の減少せる平時に於いて、益々その急なるを覺ゆ、故に余は世の、深情多感の諸媛が、彌々益益同志を糾合して、爰に盡力幇助せられんことを、竊かに熱望する所なりかし。

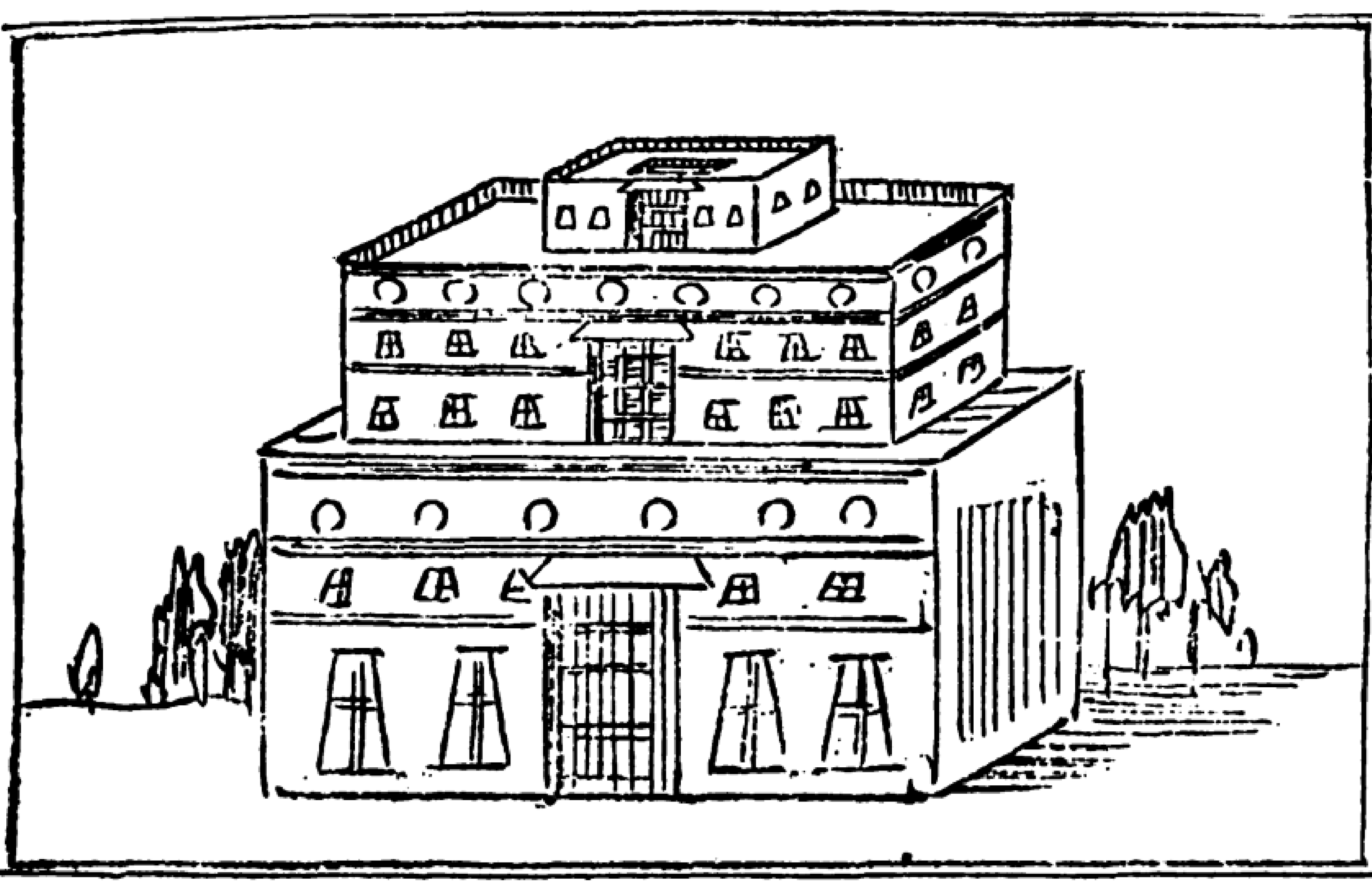
◎蒙古及び西藏談

寺本婉雅

堅忍不抜の精神を以て總ての危險を冒し支那方面より他國人の入國禁制なる西藏を横斷して印度に出で此程歸京したる寺本婉雅師の談話の要領なり文責は記者にあり

◉蒙古の家屋　蒙古の家屋を外部から望見致しますと恰も釣鐘を伏せた様な形であります、六疊敷き又は四疊半位ゐの廣さで一間きりより外にはありません、土で塗つた壁などはなくて壁の代りに洋毛で織つた白い段通の如きもので周圍を丸く圍みます、中央にも柱などはなくて木を編んで柱代用の具を作り、壁に添ふて其上を綱で結び、風のために動揺せぬやうにし、最上部に明り取りの窓を設け、東向きに入口を明け、高さは人間の丈の二倍位ゐに作られてあります、東向きと云ふても磁器で正確に計數つた譯でなく、唯だ太陽の出入りによつて方位を定めて居ります





右　蒙古の家屋
左　西藏の家屋

◉家屋の内部　室の中央に爐の如きものを切つて、其中央に胡爐を置き、此處で火を焚くのでありますが、薪が無いものですから野羊や牛や馬の糞が薪になるのであります、其室の正面に高き棚を作り、之には必ず佛像を安置してあります、其室の周圍には土の上に段々と座布團が重ねてあつて、其座布團の積み方が高い程富裕且つ高貴の家となつて居ります

◉蒙古の禮儀　野蠻な國にも夫れ〳〵禮儀がありまして、門の前に暖簾の如きものがありますが、之を潛くるにも作法がありまして、左側よりして右側に明けて往かねと禮儀を知らぬ人となつて居ります、又室に這入つても佛の眞正面に後ろ向きに座を占める人は喇嘛僧はかりで、其の外は座するを許しません、其右側が主人席で、其左側は客席となつて居り、秩序整然侵す可からざることになつて居ります

◉婚禮　蒙古では婚禮すると別居する習慣になつて居りまして、別居するには必ず家を一つ作るので、前に申した釣鐘のやうな家が必ず本家の附近に殖へるのであります

◉家具類　室内に備付けてある諸道具は眞に少くありまして、胡爐、鍋、金杓子及び座布團位ゐである、座布團は多く重ねる程官等が高くて親王官は九枚重ねて居ります、其布團は縁取りが出來て、青色や赤色で以てこれを作るのを自慢のやうにして居ります

◉西藏の家屋　蒙古の家屋よりは西藏の家屋の方が堅牢に出來て居つて、一寸見ると西洋館のやうに見へます、圖に示す如く二階又は三階のものがあつて、恰度箱を積み上げて作つたやうなものであります、周圍は天然石と泥土とで積上げ、材木は多くありませんから土と石とで建てられて居ります、二階の土間なぞは泥土の上へ布を布て毎日拭くものですから美しく、大理石かと思はるゝ程光澤を放つて居ります

◉窓と室　窓は長方形に作り、紙で其窓の戸を作り、一室に必ず一つ又は二つの窓が明けてあります、二階の下に牛馬を飼ふて居ります、屋根は概ね土を堅めて塗つたものでありますから、雨が降ると土が流れて大變な事になります、家族は別居しますが、別に家を建増したりはしない、二階三階の一室を占領して竈を別にし、食事も無論別々に致します

◎十分談片

◉評議員鳩山春子氏　個人と個人との間に交際が必要なると等しく國と國との間にも交際が必要であります即ち國交の圓滿を計るの途は交際に依て生ずるもので其交際と云ふ事は婦人の結び付きに依て完きを得るものであります故に何れの國でも社交の事は婦人が專ら擔任して居りまして交際は婦人の天職と申してもよいので婦人は交際社會の花とまで稱せられる程であります今や我國は實に世界の人種と交際の中間入りを致した譯でありまして列國の貴女紳士は頻りに我國に來遊し交際を求められますが我國婦人社會に向つて交際の用意如何にと尋ねたら殆んど皆無と云ふても宜しい程であります是れは畢竟日本の婦人が外國人との交際を餘り億劫がるからであります外國人とて決してむづかしい談をするものでもなく恐ろしき害もなく且つ外國語が話されぬとても通辯が附隨して居りますから左迄不自由な事なく且つ日本の交際用服裝は西洋服に比ぶれば最も簡單にして變化なく且つ保存する事が出來まして深く經濟でありますから交際に於て衣服の點には心配はありません殊に外國人は公會の席で儀式的の饗應を受けるよりも一家に於ける家庭の饗應を受ける事を喜び日本に於ける家庭の狀態を知らんとの目的にて渡來するものが多くありますから是等の人々に失望させぬやう社交の事は眞の人格ある婦人が全權を握るやうに致したいものと思ひます只今の有樣で來遊された外國人は眞の日本婦人を見る事なくいかゞわしき下等人種のみ見て歸り日本には貴婦人は皆無と斷定さるゝのは婦人社會の不面目のみならず我國家に取りて莫大なる損害を加ふるものであります是は有識の人々の熟考すべき事と考へます

◉民間研究所長名和靖氏　生活にのみ日夜汲々たる人には出來ぬ仕事でありますが生活上に餘裕があり且つ多少隙のある人即ち上流社會の婦人方は科學の研究をせられん事を望みます此事は自分一身に快樂と利益を享有するのみならず社會を稗益する事實に夥しいものがあります私は昆蟲類のみを研究して居りますが凡そ家庭と昆蟲類とは餘程關係が深いものでありまして殊に婦人は毛蟲一疋居てさへ恐ろしがるものであります蟲の性質を知らぬ爲めに恐る可きものを恐れず恐る可からざるものを恐れると云ふ弊害があります秋は蟲の鳴く音があはれであるとか悲しいとか申しますが蟲の方から申せば嬉しくてたまらぬから鳴くので人間が思ふやうに悲しいのではありません殊に我國では世界の内でも蟲の種類が最も多い國でありますから子供が採つて來た蟲の名を知らぬ母が多くありますが時として此の虫は子供が手を觸れても害になるかならぬか位ゐのことは覺へて居らねと測らざる災厄を招くことがないとも限りません故に私は婦人方がこの研究をされんことを望むのであります而して斯學研究上より受くる間接の利益は第一に理科の思想を養成し第二には野外運動をなす動機となり第三には高尚なる話しの材料を作る事が出來る等數へ上げ來る程あります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

◎凱旋

武田櫻桃

嵐に凄い夜の事てした。僕は病院からいつになく早く退いて歸つて來ますと、終日患者を看護の疲勞か、もう何をする氣にもなりません。

それでも洋燈だけは點けて、火の氣のない長火鉢の前へ座りながら、新聞の拾讀みを始めて見たのですが、それも長くは續かなかつたのて。

と、耳を澄しますと、誰か戸の外へ立つたやうですから、僕は一人住の氣味も惡く、

「何方？」

と聲を懸けますと、

「私よ、今日はお退けが早いぢやありませんか……」

云ふ聲はお隣の御新造て、平常留守をお願ひ申して居ますから、多分火種ても持つて來て下すつたのてせう。

「まア、何誰かと思ひましたら、留守をお難有う存じます」

から云つて、戸を開けて迎へますと、お隣の御新造はいそ〳〵として、

「さうてしたつけね、火種を持つて來るのを忘れちまつたんてすの、何と云ふ悉皆なんてせうね、けれど、貴方……」

と框へ輕く腰を下して、

「貴方に斧つて戴かなければならない事が出來ちまつたんですわ、鳥渡これを御覽遊ばせな」

懷中から一枚の繪葉書、それは夫の自筆て、拙い凱旋門を畫いてある上へ、もう程なく凱旋する事になつたから安心するやうに、と鉛筆て記した戰地からの葉書てす。

「愈々旦那樣がお歸りになると、折角お馴染になつたんてすが、何處か廣いお家へお移轉になるだらうと思ひますと私何だか心細うございますわ」

僕はもう胸の躍るやうな氣がしまして、御新造の云ふ事も好くは耳にも入らなかつたのです。

「あら、まア、良人が歸つて參りましても、此處は移轉しやア致しませんわ」

「でも、大尉樣のお宅としちやア、餘りお狹いぢやございませんか、それよりも貴方は病院の方を什麼遊ばして、旦那樣がお歸りになれば、無論お退きになりませうわね」

御新造は別に何の氣もなく被仰つたのてせうが、僕はこの言葉を聞くと、夢から覺めたやうに、病院の事が思はれてならないのてした。

それは夫の出征中看護婦となつて、同じは御國に盡す覺悟、夫の凱旋とゝもに職を退くのは當然ですが、二週間ばかり前から預つた病兵の、一度は黑溝臺で無二の功勳を現はして、名譽の負傷は大腿部貫通銃創、再び兵に徴されて、やがてまた戰地へ渡り、今度は肋膜炎で後送されて、今病院に呻いて居る。聞けば戰地て一度ならず夫の危急を救つたとか、神が夫の報として、僕に其の病兵の看護をお命じになつたのだらうと思ひますと、たとへ〳〵夫が明日にも凱旋しやうが、其の病兵の全癒までは、飽くまでも看護婦の職を辭する譯には、と僕は固く心を決めて、

「はい、良人が歸つてまゐりましても、妾は當分この儘て居やうと存じます」

「まア、そんな」

と御新造は眼をまるくして、昵と瞻て、

「それては旦那樣の御世話は何方がなさるのてございますの」

これには答へも出ませんのてした。

「それには困るんてございますの？」

僕は云ひ知らぬ深い思ひに沈んだので、御新造はそれから一言二言、何しろお芽出たいと云ふ言葉を重ねて歸られたのてした。僕は其夜神に何と祈つた事てせう。

「夫が凱旋の日、其の病兵も併せて全治せさせ給へ！」

神樣は僕の願を快く聽いて下さる事てせうか、乾度聽いて下さるに違ひない。(完)

◎貞婦阿仙

高橋佛骨

せん女は信州更級郡今井村の農夫宇兵衛の妻なり、せん女素部賤に生るれど容貌麗はしかりければ、可惜この容色をもて貧家に一生を終へむよりは、去つて富豪の妻とならずや、心あらば吾れ媒酌の勞を取らむと勸むる人多かりしも、せん女の心は岩よりも固く、この誘惑を退けて專心夫に仕へ、家政を助けて幾年月をか經たりけるに、慘風悲雨人事の奥も安からず、明治三年の秋宇兵衛[illegible]し舌屈み、言ふも聞くも意のまゝにならざる上に、起居また自由を失ふ惡疾に罹かりけり、さなきだに淺茅にすだく虫の音のそれより細き一家の生計、宇兵衛病みてよりは窮境更らに日一日と迫るれど、せん女はこの窮境と奮鬪を繼け、藥餌の養ひを盡して衣帶も解かず長き年月看護に心を碎きけり、時に[illegible]布は妙像寺の慶山と稱する修驗僧の巡錫して同地に來りしかば、せん女は慶山の修法に依つて夫の病痾平癒を禱らんと、無きが中にも布絕供物の用意して慶山を請じたるに、慶山留まること數日、殊勝氣に法を修し居たるが、何時しかせん女の艶容に執着し、烈々たる情火は法衣を燒き盡し〳〵、遂に其の心情を訴ふ、せん女驚き凜然として是れを斥け、直ちに當家を立去るべく命じるたに、破戒不羈の慶山は其の夜兇器を揮してまた迫まる、されど[illegible]操飽く迄堅固なるせん女は其の不倫不德を詰つて近けず、一命を賭して拒みしかば、慶山の相形惡鬼羅刹と變じ、白刃を閃めかして無慘にもせん女の胸を刺貫き、せん女の息絕ゆるを見て其の蹤跡をくらましけるが、天網いかてか斯かる惡徒を洩すべき、慶山は日ならずして召捕られ、重き刑に行はれたるが、せん女の貞烈は早くも時の令尹の耳に入り、貧困の中病夫に仕へて看護怠りなく、死を以て節操を全ふしたるは實に婦人の鑑なりとて賞金七拾五圓を下賜せられ、以て[illegible]の資に供し、芳名傳へて千載に朽ず、あゝ女子は斯くこそあらまほ欲しけれ。

◉我家の天長節

東京　廣野菊子

私の家庭では主人が朝早く參賀の爲め宮中へ出仕しますので朝暗ひ中から起きまして先づ赤飯を焚き大根鱠を作り神棚に燈明を供へ家内一統祝ひの膳につくを常例として居ります夫れから午前中に毎年定まつて子供の寫眞を撮りに往きます是れは國許に居られる祖母の君に差上げ子供等が毎年發達して往く有樣を見比べて貰ふ爲めであります夫れから晝御飯の時には私の子供の友達たる近隣の子供を七八人招きまして一同に晝食を饗するのが例となつて居りますから今年も其計畫で何か子供衆の喜ぶお甘いものを拵らへて與へたいと考へて居りますそれから夕方から夜に懸けては主人の郷里から出て來て勉強して居る學生が拾人計りありますから是れを招きまして家族一同と晩餐を共に致し食後は銘々の學業に對しての所感を陳べて貰ひ私共までも所見を摘める積りてあります夫れが濟むと私の妹や私の子供なぞが出て唱歌を唄ふたり音樂を奏したりして遊ぶと云ふ仕組みて御座います

◎妙閑尼

須藤求馬

妙閑尼は、俳諧の宗匠不角千翁の繼室なり、妙閑天稟慈愛の心深く、至て發明にして、夫千翁と共に風雅の道に堪能なり、園女秋色にも越えたり、ある冬の夜、雪いと降りければ、近邊の雅友來り、千翁をさそひ、雪見に同道して出てんとする時、一人の小野郎を供につれんとて、千翁はやく支度いたせ、らちの明かぬなど、いひ、いづれも風雅の面々はさてこそ雪の面白かるべきも、此奴僕何の面白き事有りていさむべきや、一とせ安藤冠里公のあれも人の子なりといふ初雪の句もあり、陶淵明が薪水の勞を取れるにつけて是もまた人の子なりといへる仁心の辭を思ひたまひね、手前の子ならば、供には連れたまふまじと云ひければ、不角、いかにも其方が言理りあり、仁愛の情深き感じ入りたり、即ち其一言、正しく發句になりたり

我子なら供には連れじ夜の雪

是は我が過なりとて、閉口してけるとなり、繼室、夫千翁に後れてより、法體して妙閑と號せしが、實に同情に富める得がたき女性なりけり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎小兒の蒲團

ドクトル　川瀬元九郎

●小兒の蒲團とて別にはないが、大人よりも一層注意を加へて世話をして遣らねばなりませぬ、寢臺を用ゆれば結構であるが、さもなくば藁蒲團を疊の上に敷き、其上へ通常の蒲團を用ひ、さうして白のシーツを用ゆるが宜しいと思ふ、夫れから上に掛けるには、毛布が一番輕くて溫であるから、蒲團よりも宜い、勿論白のシーツを用ひるから皮膚を刺戟するやうなことはない、何うも重き蒲團は重い丈け身體が疲勞するからいけない。

伊國サピーネル連山地方の小兒運方（一）

●寒中には毛布の上へ蒲團を掛けるも宜しいけれども、厚くて重いのは排斥しなければなりませぬ、蒲團が薄いと何んだか貧乏臭いやうて成るべく厚いのを用ひたいやうな傾きがあるが、小兒の爲めには極めて惡い事である

同上（二）

●就床させる前に、必ず手足と顔面を洗ひ、さうして歯を清潔に磨かなければなりませぬ、虫歯の出來るのは多く夜中に於て歯間にある食片などが腐敗醱酵して歯を腐らすのであるから、能く／＼注意して實行したいものであります

●一室には可成く多人數眠らない様にしなければ、空氣が不潔になつて小兒の疲勞の回復と發育を妨げます、夫れ故可及的空氣の流通に注意しなければならぬ

●就床時間と起床時間を一定して勵行しなければならぬ、小兒の良き習慣をつけるため且發育上に大なる關係がある

●夜具は二三日目毎に日光と空氣に能く洒らして、シーツは少くも一週一回位ゐは洗濯しなければならぬ、毎日暗くて空氣の流通のない戸棚に仕舞つて置くのは宜しくありません

◎夜具が重きに過ぐるか、溫か過ぎると身體が弱はるか、又た蹴り出して寒冒に罹かることがあります、勿論薄きに過ぎれば寒冒に罹る、故に注意して斟酌して遣りたいものであります

◎大人物と腰辨

久津見蕨村

●「これ太郎や、そんな瑣事にコセコセしては不可よ。お前は男です。立派な日本帝國の男兒だ。豪い人に成るのだから大きな志を持んければ不可

●「第一少しばかしの菓子や、錢などに氣を止めて、夫れにビク／＼するやうでは決して豪い人にはなれんよ、何んでも寛濶に膽力を宜くしなければ成らん。さうでなければ大人物には成れません。東郷さんや大山さん見た様な人になるには細事なんかに眼を止めるのではない。」

●之れは或る父が其子の太郎に申聞けました初めの小言でございます。太郎は其積りで小遣をパッパと使つて居りました所が、其翌日でございます、又父が太郎を呼び付けまして申しますには

●「太郎やお前は如何に男だからと云つてさう無勘定では困る、五厘壹錢だからと云つて決して只は出て來ません少しは錢勘定、經濟を知らんければ不可。而してお前も男であつて見れば、最十四五年も經てば一家の主人だ。少しの月給を取るとか、月々若干圓づゝゞ儲けるかして一家を養はなければ成らんのだ。例令へ一厘のことでも、一つの菓子でも、さうパッパとしては不可てはないか」

●太郎は斯う云はれて恐縮あがりまして隅の方て溫柔く小さくなつてをります。しますと母がそれを見まして、

●「これ太郎坊や、子供は風の子とまで云ひます。そんなに萎縮て居るものではありませんよ。最と活潑におしなさい。家外へ出てお友達と旗取りでもしてお遊びなさい。何をウジ／＼してゐるんです」と申しました。

●太郎はこれて勢ひが附きまして、其翌日は大勢友達を連れて來まして、自家の前てワッワと云つて騒ぎ廻つて遊んでをります。すると母が見まして

●「太郎坊や、それは何んです。騒しいぢやありませんか。それにそんな荒いことをして危險うございますよ。家内へ還入て溫柔しくしてゐらつしやい」と云ひましたので、太郎は澁々家内へ還入ました。

●固より太郎は歳も行きませんから、是等の小言を噛分けることは出來ませんが、併し若し之を噛分けたら如何でせう。氣を大きくして宜いのか、小くして宜いのか、大人物を望んで宜いのか。腰辨を目的として宜いのか。活潑にして宜いのか、萎縮が宜いのか、更に分らんではありませんか。如何です。之で家庭教育が完全に行はれるでせう乎。

●世間には如斯撞着矛盾した事を毎日毎日繰返してゐる家庭があります。そこに育てられた子供は如何なりませう。世の父母となつたものは、日常能く心を附ねばならてはありません乎。

◎香川縣立高松高等女學校獻立表（壹ヶ月間）

三吉校長寄

▲自九月二十四日至九月三十日

	朝	晝	夕
日曜	香之物	豆腐汁	照燒なす 香
月曜	みそ汁	こんにやくしらあへ	みそ汁（白玉 青のり）
火曜	さつま芋	飛龍頭 高野豆腐	牛肉 じやが芋
水曜	みそ汁 わかめ	煮豆	のつぺい（[illegible]）
木曜	香之物	さつま芋	煮ざかな
金曜	醬油豆	高野豆腐 あらいも	しる（だんご 青み）
土曜	みそ汁 ねぎ	青えんどう こぶ	しぐめ（[illegible]）

▲自十月一日至十月七日

	朝	晝	夕
日曜	てつかみそ	たい 牛蒡	ぜんざい しくれこぶ
月曜	香之物	かはとり豆	清汁（松たけ 豆腐 青み）
火曜	ひたしもの	けんちやん	牛肉（牛蒡 ねぎ）
水曜	みそ汁さつま芋	ふじまめ ごまみそあへ	赤飯 焼さかな
木曜	なす あさ漬	酢之物（大根 油あげ あらめ）	煮付肴
金曜	ふのにつけ	じやがいも かんぴよう	さしみ
土曜	さつま芋につけ	清汁（豆腐 ねぎ）	まきずし

▲自十月八日至十月十四日

	朝	晝	夕
日曜	芋 なすか新漬	ゆずいきのごまみそあへ	さしみ
月曜	香之物	清汁（えび ゆば）	ぶた（はぎ 牛蒡 こんにやく）
火曜	みそ汁 ねぎ	さつま芋につけ	吸物 肴
水曜	醬油豆	牛蒡 はすれ 煮付	煮肴
木曜	香之物	つの花 ゑび ねぎ	牛乳入 じやが芋 こぶの揚物
金曜	みそ汁	かまぼこ なの煮付	のつぺい（[illegible]）
土曜	香之物	たいも こぶ	揚物（[illegible]）

▲自十月十五日至十月二十一日

	朝	晝	夕
日曜	みそ汁 たいも	じやがいも こんにやく につけ	栗きんとん
月曜	香之物	かまぼこ ひたし	芋飯 清汁（[illegible]）
火曜	[illegible]新漬	豆腐ちり	オムレツ
水曜	煮豆	ふじまめ たいも	たぬき汁（[illegible]）
木曜	みそ汁 こかぶ	高野豆腐 干瓢	焼肴
金曜	香之物	けんちやん	ぜんざい 小蕪三つ輪漬
土曜	こんぶ から煮	こふき豆	きつねずし 清汁（[illegible]）

◎家庭の買物

評議員　有島幸子

●薪炭類の購入　薪炭は貨車を一臺借入れまして、毎年八九月頃に山元から直接に購入れることに致して居ります、購入後に市中の相場が下落すると損失をしたやうな者でありますが、小賣商よりして種々なる人の手を經て買入れますと、兎角其中に不正のことが行はれて居りますから、相場の高低に拘はらず直接に買入れた方が利益かと思ふて居ります

●重なる買物　私は大概の買物は自分で市中に出ては買込みます、人に依頼して買ひますと自分の思ふやうな品物は買はれませず、兎角高價につきますから自身が出るが一番宜しうあります、且つ安いからと申しても現在必要でない品は決して買はぬ事として居ります。

◎野菜類　私は家庭て用ゆる野菜類は決して商人から買入れませんで自分の圃て作らします、夫れは新宿の停車場の近隣に六百坪の土地を買入れて居りますが、其内三百坪の地面を畑にしてこれを近隣の百姓に頼んで作らせて居ります、百姓への手當としては一ヶ月二圓五拾錢づゝ與へれば立派な野菜を作つて呉れます、經濟上から申したら多少損になるか知れませんが、新らしいお味い物を食膳に供へる事が出來まして、結局は經濟につくかと思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎愛國婦人會記事

◎理事會　十一月中の理事會例會日取は左の如し

十一月八日（第二水曜日午後二時）

◎評議員會　十一月中の評議員會例會の日取りは左の如し

十一月廿二日（第四水曜日午後二時）

◎功績調査委員會　本會の爲めに盡力せし人々の功績を調査する爲め會長指定の委員拾名は十月廿八日午後一時より本部に於て第一回相談會を開きたり

◎滿韓軍隊慰問報告會　去る一日午後二時より九段坂上階行社に於て奥村刀自一行の滿韓軍隊慰問報告會を開き本會職員及東京支部幹事等百餘名出席し奥村刀自始め一行の報告演説あり終って茶菓の饗應（會費三十錢）ありて退散したり

◎奥村刀自の遊説　石川縣下遊説の爲め富樫眞喜子氏と共に明四日出張の筈なり

◎兩宮殿下の奉迎　千代田艦長東伏見宮殿下新高副長伏見若宮殿下御凱旋當日本會職員伊東子爵夫人以下數十名新橋停車場に奉迎したり

◎海軍凱旋式出迎　東郷大將以下凱旋入京の當日本會職員戸田伯爵夫人以下數十名新橋停車場に出迎へたり尚大將へは本會より紀念の爲め本會徽章に形りたるカプス釦を贈與する筈なり

◎觀艦式陪觀　本部の陪觀位置は先號の本紙上に披露せし如く横濱市伊勢山太神宮前廣場にして横濱市に於ける眺望第一位の處なり當日陪觀所の四方には幔幕を回らし中央に棧敷を設け本會徽章入りの幕を張り職員並に會員の來場を待受けたり午前八時よりして近衛理事山内理事始め二條評議員以下會員凡そ五十餘名來場せられたり尚東京支部の陪觀所は鶴見驛の近隣字不動山に設けたり同所も鶴見近隣にては第一の好位置にして來觀者も頗る多く會員凡そ五百餘名來觀せられたり又神奈川支部にては高島山及神奈川舊砲臺とに場所を設け會員數百名來場ありたり

◎群馬支部總會　總會の日取りを前號の紙上には十一月十二日と記載せしが其後延期となり十一月廿六日に開會する事となり其節は本部より總裁宮殿下御名代として理事評議員の内出張せらるゝ筈なり

◎鹿兒島支部總會　第四回總會を明四日開催の筈にて總裁宮御名代は同地に在る男爵夫人島津秋子氏に命ぜられたり

◎寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金千圓	臺灣	郭春秧
一米金百弗	米國人	ハアリマン夫人
一金百圓	富山縣	室崎さき子
一金百圓	臺灣	李麗娘
一金百圓	仝	陳新色娘
一金百圓	東京	竹中春野
一金百圓	仝	長井利右衛門
一金五拾圓	仝	山本コト子
一金五拾圓	仝	高橋鈴子
一金五拾圓	仝	木村彌重子
一金五拾圓	山口縣	八木シゲ
一金四拾貳圓	東京	南部限子
一金拾五圓	千葉縣	妙行寺 石井日淳
一金拾五圓	在清國沙市	石原逸太郎
一金拾五圓	仝	大谷重保
一金拾圓	在東京	ウオルトン夫人
一金拾圓	秋田縣	大館町會員
一金拾圓	仝	大館婦人會

右の内大館町會員及大館町婦人會の分は先般本會長東北巡行の際寄贈せられたるものなり

一金參百圓	愛媛縣	清家粂一郎
一金參百圓	仝	白石和太郎

右者去る十月八日愛媛支部總會の際寄附せらる

◎英國大將より寄贈　此程來朝し官民より非常なる歡迎を受けたる英國海軍大將ノーエル氏は本會の主旨に贊成し横濱を去るに望み金貳拾五磅（我貨幣にて貳百四拾四圓）を本會に寄附せられたり

◎軍人の寄附　從來より本會に同情を寄せられ戰地よりして絶へず本紙に寄稿せられ且つ寫眞等を送られし横川大尉より今般左の書面を添へ本會に寄附申込ありたり

余は貴會の趣旨及施設を贊助し余の身分に適應する範圍に於て左の方法により金員を寄贈す

一、本月以後余の生存間毎月二圓宛を寄附す

二、此金額は余の身分の變化等により增額する事ある可し

三、如何なる時變に遭遇するも毎月二圓以下に減額することなし

右之方法による金員の寄附は最も余の境遇に適し且國民及軍人として貴會の事業を贊助すべき義務を有するものと思考致候に付御意御許容被成下度此段申入候也

近衛歩兵第三聯隊補充大隊
陸軍歩兵大尉　横川武男

◎遺族及癈兵の優待員章　遺族及癈兵を優待する爲め本會は特別徽章を製定し之を交附する事に決定せし次第は前號の紙上に記載せしが其徽章は左圖の如くにして徽章の地質は銅製となし「りぼん」は白地に赤の三線を引きたるものにて最も美しき出來なり

◎清人の寄附　清國沙市關員左琬氏は本會の趣旨を贊成し今回沙市駐在石原領事官事務代理の手を經て金七圓五拾錢に左の頌詞を添へて寄附せられたり

頌詞

今承

大日本帝國駐沙領事石原君之紹介得稱愛國婦人之會同深慶賀此會宗旨在救護戰死者之遺族及癈兵分爲四等皐閑院宮妃殿下爲總裁更有名譽特別通常評議贊助等會員樂慈善表同情創成盛擧會中定規甚善甚美將來我國有健起者必取法爲叅觀

大日本大皇帝萬歳

愛國婦人會萬歳

大清國湖北沙市關員左琬敬頌

◎無名齒科醫の寄附　單に特志齒科醫とのみ其の姓名を態と秘して左の書狀に金拾圓を添へて寄附されし人あり無料にて軍人の齒痛に患めるものを施療するさへ奇特のとなるに更らに酒肴料として贈られたるものを匿名にて慈善の資に寄附さるゝ奧床しき醫師にこそ

謹呈

時下秋冷の候に相成候處愈々御熱心を以て出征軍人は申までもなく家族に至るまで御慰問且つ御救助被下候貴樣の御神勞深く奉感謝候

二伸小生儀は昨年開戰以來大ひに感ずる所あり特志施療を企て五月以降各地に出張し本年七月總司令部に着更に奉天遼陽大石橋を經營口に參り漸く本日治療濟に付き明日旅順に出張の都合に致居候然るに當地駐屯の後備兵歩第五十四聯隊長陸軍歩兵大佐松原陸三郎氏は小生の舉を贊し感狀を送らるゝのみならず離杯に替へ酒肴料として銀拾圓を添へられたるを以て再三御辭退せしも是非との儀に付き頂戴致候間同氏の御厚志を謝すと共に御貴會に送金致置候間御受取被下度候　再拜

明治三十八年十月五日
營口兵站司令部にて
特志齒科醫

愛國婦人會御中

◎大館婦人の感謝狀　總裁宮妃殿下御名代として會長公爵夫人岩倉久子氏を始め評議員東郷鐵子氏の一行縱に青森支部總會に臨場の歸途秋田縣を通過せられたる際同縣大館町の婦人會員は一行を停車場に歡迎（附錄寫眞版參照）せしが此程會員總代武石秀子氏より會長へ宛て左の感謝狀を送り來れり

謹てきこえ上げ奉り候暮の秋とていとひやかになり侍れど會長の御上樣はじめまゐらせ御同伴の御方々樣御旅行やすらかに御歸京あそばしつる御事御めでたう幾重にも祝ひきこえ奉り候偖地方御わたらせの折りは御前近うゆるさせ給ひ御懇の御謖御名刺をさへ給はりてこよなう有難うおぼえ侍るに何事もえつかひまつらでひとかしこうなんさぶらひきされと高貴の御身をもて遠き境の露霜をわけさせ給ふ御いたはりをまのあたりに拜し奉りて會員は申もさらなり時につくはふ賤女のはて迄もいかて御國のおん爲にはとまめたちいそしみ候へば會のわざおしひろむるにたよりよう候まゝ蒙り候仰の萬分の一を盡し得度うおぼえ候へばこはなくさませ給はりたうれき上奉り候寫眞五枚まゐらせ候みそなはし給はるべうもや寫眞師の申にまかせ車室内の御影を頂き候ひしにあざやかならで口をしうおぼえ候へども御顏まさしく拜せられ候へば妾どもには得難き紀念物と秘めおきはべる時候日ましに寒うなりゆき侍れば厭はせ給ひていやすこやかにわたらせ給はん御事御國のおん爲祈上奉り候あなかしこ

明治三十八年十月二十日
秋田縣北秋田郡大館町
愛國婦人會員總代
武石秀子

愛國婦人會長
岩倉公爵夫人殿

◎特志揉療治　日本橋區箱崎町二丁目一番地高根逸泉氏は自修研究の結果諸病揉療治に從事するの人なるが今回本會の紹介ある軍人遺族及び癈兵に對して無料施料したき旨申し出でられたり

各地支部狀況

◎東京支部の活動　會務擴張の目的を以て支部幹事部に於て開催せる慈善演藝會は益々盛んにして各區にて行はれ本所に於ては去月廿一日廿二日の兩日向兩國體育俱樂部に於て開催せり尚本月分の日取りは左の如し

△南多摩郡幹事部　十一月四日八王寺關谷座に於て開催

△麻布區幹事部　十一月十一日十二日十三日の三日麻布善福寺（又は大學林）に於て開催

△京橋區日本橋區　本月中旬頃五日間明治座に於て開催

◎三重支部　四日市に於ては同市沖に集まり艦隊を慰問し物品を贈與したり

◎新潟支部　不日各幹事部顧問の會同を催し支部顧問より本會擴張の策を懇囑する筈なり

◎静岡支部　同支部内濱名支部に於ては他の團體と組合ひ凱旋軍歡迎の準備に怠りなしと云ふ

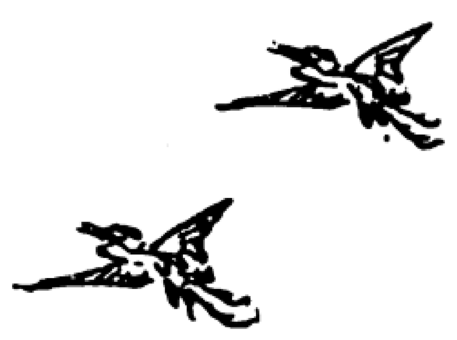
◎兵庫支部　同支部にて凱旋軍歡迎の模樣は同市婦人奉公會員と組合ひ停車場に二ケ所に煙草販賣店を設置し夜間は煙花を打揚げ旅情を慰める等用意着々調ひつゝありと云ふ

◎岡山支部　軍人家族の幼兒を集め同地の後樂園に於て一大運動會を開き家族の慰藉につとめたりと云ふ

◎岐阜支部　安八郡幹事部にては各々部署を分ちて各町村の遺族を慰問するよし尚大垣市の幹事部にては他の團體と協同し停車場を飾り軍隊の凱旋を迎ふるよし

◎京都支部　奥村刀自歡迎會を去月十三日祇園中村樓に於て開催せり來會者の重なるは大森顧問を始め西郷市長市の有志者及本會職員以下百八十名程にて非常なる盛會なりし尚翌十四日は市會議事堂に於て滿韓軍隊慰問演説會を開きたるが當日は愛媛、香川、德島三支部總會より歸途中の大山理事、淸浦評議員も臨場し一般公衆の入場をも許し非常の盛會なりし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



大君のみいつもはなにあらはれて
　きくもことしは咲まさりけり
會長　公爵夫人　岩倉久子

君か代のためしとや見んきくの花
　しもにあいてもあせぬいろかを
理事　前公爵夫人　近衞貞子

とし毎に咲あらためて大君の
　千代をことほくしらきくの花
理事　侯爵夫人　鍋島榮子

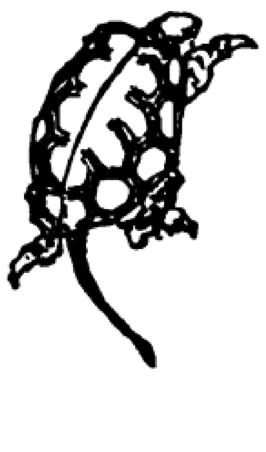
この秋はうき雲はれて大にはの
　きくもいよ〳〵いろ香ますらん
監事　公爵世嗣夫人　九條惠子

天津日のひかりをうけて御園生の
　菊の花こそ久しかりけれ
監事　男爵夫人　三井苞子

みそのふのさかり久しき菊の花
　ことにことしはさきまさりけり
評議員　中山幸子

幾年も君か千歳を契らまし
　まかきに咲る白菊の花
評議員　有島幸子

君か世にちよをかさねてあきことに
　ひさしく匂ふしら菊の花
典侍　高倉壽子



◎黄菊白菊

大阪　富永才子

朝露をおびて匂へる白菊の、雪なす花の顔に、みどり色こき葉の衣、よそほひ清き其姿、げにも花中の君子てふ、古き詞の宜なれや、瑞氣みちたる大空に、今しものぼる天つ日の、光をあびてまた更に高くも放つ千代の香は、我大君のあれまし〻日を、花もことほぎまつるかと、いともめでたく覺えけり、いざ一輪をさしかざし、けふのよき日を御祝のまどゐの庭におもむかむ。

鍋島　横川千賀子

九重の御園に匂ふ白菊のめでたきはさる事ながら、木の葉散りしく賤が籬に黄菊白菊咲き亂れたる、つくろはねど又なく憐なり、咲き出てし花の姿は齢を千代のためしにた〻へられ、畏き御門の御紋章に用ゐらる〻も、君が御代の萬代に久しかるべき例にやと思へば、いよ〻貴さも增さりてなん、漸々秋の更け行くま〻に千草うつろひ初むる此頃、花さへ葉さへ聊か色更へぬめでたさはなべての花に及びもなしや、増して朝露のをきそめてよりは、たわまぬ操の程もあらはれて、氣高さ貴さも一しほになん。

群馬　伏島たき子

去にし五月の頃なりき、さる人より菊の若苗數株を贈られければ、皆鉢にとり、明暮心を盡せるかひありて、三鉢計りはおひたちことに嬉しう、いかで來ん天長節までには八千代の色香なつかしう、眞盛になれよかしと一としほ心をいれける程、昨日今日白、黄、薄桃色、とり〴〵匂ひそめけるぞ嬉しきや、かねて友のいかで一鉢をと乞はれける事ありき、いづれを贈らん、白もけだかう、黄もなづかしう、薄桃色もやさしなど思ひつゞけ眺むれば、深き匂ひの袖にもあまるばかりになん。

○　彦根　近藤しづ子
いくかへり君かちとせを祝ふらん
　おひてふことをしら菊の花

○　愛知　市橋いく子
幾千秋おなし根さしの菊なから
　ことしはわきて香はしき哉

○　東京　奥村限子
大君のめぐみの露にいく秋か
　さきかはりつゝにほふしら菊

○　兵庫　粟飯原房子
御軍の世はをさまりておいらくに
　さきさかえたる菊をみる哉

○　東京　戸塚鐵子
わか庭の竹のまかきによし〻めて
　色さへ清くさける白菊

○　大阪　富永才子
露霜にうつらふこともしら菊の
　たかき操をこゝろともかな

○　鍋島　横川かね子
しつかなるみやまにすめはおのつから
　まかきの菊そ千代の友なる

○　茨城　綿引馨子
皇軍のいさをたかしときくの花
　けふ九重ににほひ出つらん

○　長崎　葛原梅香
露霜にしをれぬ菊の花の香そ
　いくよろつ世の秋もかはらし

地方の讀者に告く

◉前號の紙上にて前金されし人には帶封に「盡」の一字を朱印し相送り候處早速に御送金を恭うし難有奉存候然るに尙豫告の如く斷然發送を見合せ可申かと存候得共數年來愛讀せらるゝ方にて取扱者は御芳名を記憶する程に相成り編者も今更友人と別かるゝが如き心地致し候由申出候につき當分は其儘發送をつゞけ候につき「盡」の字を御認めの方は至急に前金御送り被下度候

尙地方の讀者の便利を謀る爲に東京に於ける買物は何品によらず無手數料にて購買方取計ひ御送り申すべく候につき御申込み相成度候尙本紙に廣告せし商店は何れも確實を認めて掲載せしめ來り候義につき該廣告を見て購入方當所に御依賴の方は先方より相當なる割引等致すやう懸合ひ申す可く候

愛國婦人發行所

愛國婦人發行所發兌

新案カルタ形家計簿

新案カルタ形家計簿　十一月[illegible]日發行

◉家計簿の作り方はなるべく簡單にして手間取れず且つ正確に落なく記帳の出來る仕組の者て無くては役立ちませんが本簿は此に注意し簡便なものに作りました◉家計簿には往々記帳落が出來て困るものであります朝に拂つた金も夕には忘れて仕舞ひ勘定合ふて錢足らずと云ふ事になりやすいが本簿はこの弊がありません◉此家計簿は發行所が數年來會員より寄稿せられた家計の現況報告により其他家計の現況を視察し研究した結果より產み出したるもので最も完全の者と思ひます

婦人の慰問使

一部金拾錢　郵便金不要

奥村刀自は滿州より歸朝されましたが皆樣方に一々面會して御話しなさる譯けに參りません滿洲軍慰問の狀況は此書に詳かに書てあります各縣の支部中には幹事方に配る爲めに多數買込まれた處もあります

發行所　東京九段坂下公園內　愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文披露　題「歴史の婦人」

▲清少納言　東京　鈴木安枝子

一條帝の時皇后定子、一日雪後に左右を顧みて香爐峯の雪思ふに如何と宣らせ給ふ、時に御前に奉仕せる清少納言直ちに起ちて簾を搴ぐ、其の敏捷鬼才今に傳へて人嘆稱す、而も少納言はこの敏捷鬼才に兼ねるに博識にして筆華縱横、平安朝時代の風潮を自在に諷刺し、衣冠束帶の貴公子をして赧顔せしめたる事多し、實に一代の才媛、得難きの女流文學者と謂ふ可し、借問す、女子教育の發達、文學の旺盛、平安朝に幾倍の圏點を施したる現代、都鄙幾萬の蝦茶式部、紫式部、黒式部、オリーブ色式部中、唯だ一人清少納言に比す可き才媛の出でざるは、抑も如何の現象ぞや。

▲撰者曰　是れまた一種の諷刺文、作者自ら明治の清少納言を以て任ずる乎

▲平政子　東京　浦月子

度量衆に越え、明決果斷能く夫を佐けて業を成さしめ、夫の死後又幼兒を輔翼し政を聞く、權勢比ぶ者なく遂に尼將軍と稱し二位の位を得て終る、之平の政子なり、末年不幸にして頼家實朝の變に遇ひ、大に悲慘の淵に沈むといへども固く政柄を執りて幕僚の狎れ犯すを容さず、眞に絶世の女傑といふべし、惜むらくは性殘忍、妬心勃々、然れども又顧みて時に慈惠を垂る、佛門に入り剃髮して益々施行に力められたり、知らず外戚の跋扈秦の呂后に似たるなきか、此の實明にして猶且免かるゝをえざりけん、嘗て其の筆跡を見るに勇健掩ふべからざる物あり、以ある哉。

▲撰者曰　人物評の躰を得たりと云ふべし

▲和氣廣虫　群馬　伏島たき子

物すごかりし戰納まりて世は靜ならんとする昨日今日、あはれに悲しう思ひやらるゝは戰病死者の遺族の上になん、こゝに至り思ひおこす、弟君の誠忠と共に世にたゝへられける德高き和氣の廣虫尼の事跡よ、君は博愛慈善の誠意もて、多くの孤兒をはぐゝまれけりときゝぬ、あはれ實に慕はしきは君が德かな、數ならぬおのれも君が御かげをひたすらに偲びて事しげき世の中を、とにもかくにもすごさまし。

▲撰者曰　優しくもまた温き筆の運びと云ふべし

▲紫式部　東京　濱田直子

ゆかりの色のあせやらで、千年を經ぬる今日までも、香り床しき紫式部は、啻に其文筆才華の秀でたるものありしのみならず、貞操にして德行高く、彼の御堂關白の威權を以てして、終に此一枝は手折り得ざりきと、歴史の婦人中或は文學に秀でたる清少納言、或は情に濃やかなる靜、或は艱苦の中に遺見をはぐゝみて、忘夫の遺業を完うせしめたる常盤等、指をりかぞふれば、何れ優劣はあらざるも、他に優れて一層追慕さるゝはわが紫式部なり。

▲撰者曰　作者の原稿常に紫インキの跡鮮かなるも道理こそ、ゆかしの人よ

▲春日局　大阪　富永才子

古へより女傑として傳へらるゝ婦人いと多くて、いづれをいづれといひがたけれど、まづ春日局の如きは、十指の內にさくべからざるの人ならむ、夙に夫に仕へて貞婦の譽高く、中年の頃より德川家大奥に、公達の乳母として奉侍せし後も、ひたすら忠勤を勵みて、其大役を全ふしぬ、加ふるにまた勤王の志にも厚くして、かの三代將軍家光公の時代、公武合體てふことを行はれしも、全くは局の初志にいでたるものなりといふ、そが一生、よく忠に、よく貞に、よく活動せる、誠に敬慕すべき婦人にこそ。

▲撰者曰　作者近來出色の文字

▲一豐の妻　北海道　山田桂子

山內一豐織田氏に仕へて微なりし時、主公京師に馬を閱せんとす、時に駿馬を販ぐ者あれども一豐貧にして得る事得はず頗る憂色あり、妻是を聞きて鏡奩より黃金十金を取出して與ふ、一豐駭いて曰はく、數年の貧を座視して救はず、今日金ある故如何と、妻曰く、貧は士の常、飢寒は獨り耐ふべし、良人一代の榮辱に臨むで獻ずべく婚嫁の時より是を貯ふと、一豐乃ち駿馬を購ひ、馬揃の當日果して信長より傾家武を嗜むを賞され天正十一年高濱城を賜はる、當代良妻の輩出を叫びて其の道を講ずる人多しと雖も、吾は思ふ、良妻を作らんと欲りせば、一豐の妻を學ぶ、是れ最上の教科書ならんと。

▲撰者曰　清少納言の作者と同一の筆法、而も撰者が募集の意に適ひたるものあり、敬服

作歌披露　題「紅葉」

○園もりのきよめぬ程を一しほのにしきなりけり紅葉散るころ　三重　柄田濟子

○世につくす人の心をこの秋もいろに出してみするもみち葉　福島　横川かね子

○露しくれいかにそめけん高雄山みゆるかきりは紅葉なりけり　愛知　平松いと子

○立田姫いつのひとまに秋ふかくそめつくしけん山のもみち葉　兵庫　粟飯原房子

○折しもあれつはもの迎ふ國民のあかきこゝろに燃るもみち葉　東京　奥村限子

○むら時雨おとつれてより我宿の庭の木たちはいろつきにけり　島根　近藤靜子

○關をあけてかへれるますらをのこゝろにたくふもみち葉の色　東京　長鹽錠子

○朝日さす峯より霧ははれそめてからくれなゐに匂ふもみち葉　東京　浦月子

○みよし野の花におとらぬ眺かな立田やま邊のあきのにしきは　大阪　富永才子

○益良夫か痛手を卷ししらゆふにちしほの紅葉ちりかゝりつゝ　福岡　渡邊峯子

◉第十五回作歌募集

△歌題　落葉

△選者　某公爵夫人　△作歌數一人一題三首以下　△期限　十一月十五日限り　△優等の作歌は本紙上に披露す可し

◉第八回短文募集

△題　霰　文體隨意

△選者　編輯局同人　△一行十八字詰十五行以下楷書に認めたるものは採らず　△期限　十一月十五日限り　△優等の作は本紙上に披露す可し

◉第十六回作歌募集

△歌題　初霜

△選者　某公爵夫人　△作歌數一人一題三首以下　△期限　十一月廿八日限り　△優等の作歌は本紙上に披露す可し

◉第九回短文募集

△題　故郷　文體隨意

△選者　編輯局同人　△一行十八字詰十五行以下楷書に認めたるものは採らず　△期限　十一月二十八日限り　△優等の作は本紙上に披露すべし

社告

廣告料價上豫告

來る卅九年一月より
して廣告料を價上げ
致し一行四拾錢の處
六拾錢に致し候間此
段及豫告候也

愛國婦人發行所

廣告

本紙の廣告を見て品物を買はるゝ方は愛國婦人に依りて申込む旨御記入を乞ふ

廣島名産　山まゆ

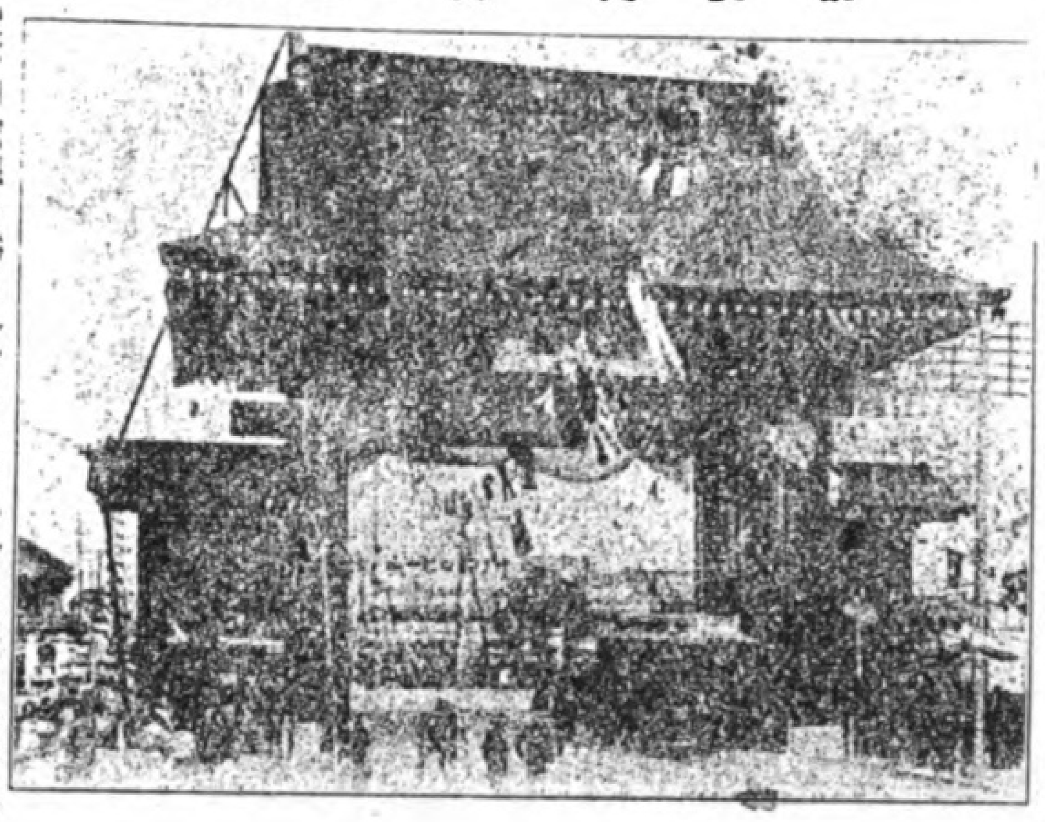
廣島市大手町一丁目
製元　菱原鐵平
御一報次第見本切呈送す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◎海軍凱旋式　光輝ある我が海軍の凱旋式は去月二十二日を以て行はれ東郷大將を始め三司令長官が公式を以て參内し東郷大將は御前に於て左の如く海戰の經過を報告したり

客歳二月上旬聯合艦隊が大命を奉じて出征したる以來玆に一年有半其間海陸の交戰皇軍勝利を獲ざること無く今日復た平和の秋に遇ひ臣等犬馬の勞を了へて大纛の下に凱旋するを得たり是れ一つに　大元帥陛下御威德の然らしむるものにして臣等の終始感激措く能はざる所なり



凱旋門其二（京橋）

初め聯合艦隊の海上に第一期作戰を開始するや臣は大命に基き海陸の形勢と陸戰の方向を考察し敵艦隊の主力が旅順方面に拘束し之をして浦鹽の要地に據らしめざるを以て戰略の主旨とし先づ旅順仁川に敵を迅擊し更に數次の攻擊を重ね以て漸次に其勢力を減殺し又屢ば冒險なる敵港の閉塞及敵前の水雷沈置等を試み以て敵の出動範圍を縮少するに力め尙麾下艦隊の一部を常に朝鮮海峽に駐めて海上の要衝を扼し以て浦鹽の敵を監視すると同時に旅順の敵に對する第二戰線たらしめたり此作戰の前期中敵は終始地利に據りて退嬰を事とし我軍連續の攻擊も容易に其成果を收むる能はざりしが八月中旬敵艦隊主力の旅順より浦鹽に逃れんとするに及びて黃海及蔚山沖の海戰を見るに至り期せずして全く敵の戰略的企圖を摧破し我作戰目的の過半を達成するを得たり其後陸戰漸く歩武を進め旅順の背面に對する我攻圍軍不撓の追擊は海上に於ける封鎖と相須て遂に殘艦隊の主力を其要塞の下に殲滅するに到れり惟ふに此期の作戰は戰勢の自然に伴ひて漸進徵功を積み攻戰約十ヶ月に亘り我將卒の心力を傾注し智勇を發揮したること本戰役中に冠絕し忠死の士殉難の艦亦少からざりしと雖も戰局の大勢は玆に初て定り爾後日本海に於ける決勝の機運も此間に醸釀したるを覺ふ

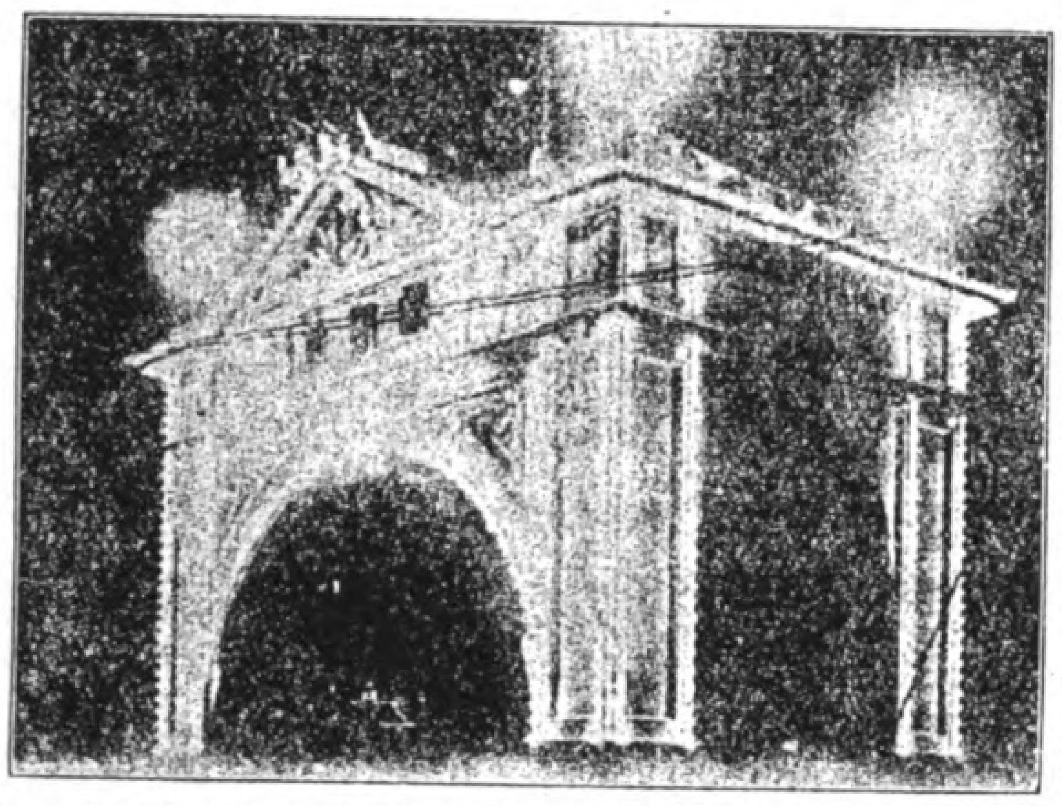
今春年改まると共に第二期の作戰に移り我艦隊は更に兵力を整頓して敵の第二艦隊に備へ傍ら露領沿海州を包鎖して敵國軍資の轉入を遮斷し時に支隊を南洋に分遣して敵の航通を威嚇するに勉め其間對島津輕宗谷國後等の諸水道附近に於て捕獲したる船舶三十餘隻を算す初夏五月に入り敵の第二艦隊近海に出現するに及びて豫め我全力を朝鮮海峽に集中し逸を以て勞に乘ずるの策を執りしが我將卒の勇敢なる動作は神明の加護に由り著々其功を奏し日本海々戰の一擧敵影を海上より掃蕩し以て此期の作戰を終結するを得たり

爾來海洋は名實共に我艦隊の制壓に歸し作戰第三期に入りしも負擔の任務は大に輕減し或は陸軍と與に樺太に攻略に從事し殆ど一兵を損ぜずして協同の任務を果し或は時々北韓方面に作動して敵を脅威し且つ依然露領の包鎖を續行して休戰復和の終局に至る迄確實に之を維持せり

之を要するに聯合艦隊の作戰は其第一期に於て戰勢を定め第二期に移りて戰勝を決し第三期に入りて戰果を收めんとしたるものにして其間緩急難易の差異ありしと雖も全局に亘る一貫の攻戰は其始より順當に經過し終に今日あるを見るに到れり今や凱旋して東京灣に集合せる帝國艦船大小百七十餘隻固より戰役に亡失したるものありと雖も更に戰利として獲得したるものを加へ尙能く戰前に劣らざる武力を保有するを得たるは臣等の誠に光榮とする所なり終に臨み臣は聯合艦隊は滿韓に於ける陸戰の效果に依り其餘利を蒙りたること少からず又海軍大小諸機關の盤備活動其他諸官衙の支助協力に依り海上の作戰遺憾無く進捗したることを感喜す玆に謹て海上作戰の經過を奉告し大命に對する責務の終了を奏聞す

報告後直ちに

卿カ統督スル聯合艦隊ノ能ク萬難ヲ排シテ空前ノ偉功ヲ奏シタルハ中外ノ齊シク瞻望スル所ナリ
朕今卿ヨリ親シク其戰況ヲ聽キ將卒ノ忠烈ヲ懷フコト更ニ深シ卿等夫レ自重セヨ



凱旋門其三（日本橋）

との勅語を賜はりたり、この日宮中には皇太子殿下を始め、有栖川、伏見、閑院、東伏見の各宮殿下、井上伯、桂、山本、寺内の諸大臣、伊東、伊集院、長岡以下の各大本營幕僚參集せり、退出後直ちに海軍省に至り夫れより海軍大臣官舍に於て異式の午餐と三鞭酒の饗應を受け午後一時五十分新橋發列車にて橫濱に歸り旗艦敷島に座乘したるが當日大將通過の沿道には畏くも内親王殿下を始め各宮妃殿下の迎へさせ給ふあり滿都の市民は潮の如く寄せ來りて熱誠に歡迎するさま實に筆紙の能く盡くすべき所にあらざりき

◎大觀艦式　去月二十三日を以て橫濱沖に於て大觀艦式を擧行されたり、當日天皇陛下には聯合艦隊を御親閲あらせらるべく行幸あり

朕親シク凱旋ノ海軍ヲ閲シ其軍容整齊士氣大ニ振フヲ觀太ダ之ヲ懌ブ汝等倍ス奮勵シテ帝國海軍ノ名聲ヲ發揚セヨ

との勅語を給ひ東郷大將口頭を以て奉答し更に當日鳳輦に供奉して御見送をなし參内の上改て左の奉答文を捧呈したり

謹テ奏ス
陛下親ク觀艦式ヲ擧行アラセラレ頗ル優渥ナル勅語ヲ賜ハリ　臣等幸榮至大ニシテ誠ニ感激ノ至リニ堪ヘズ益々奮勵聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス　臣平八郎聯合艦隊ヲ代表シ誠恐誠惶謹テ奏ス

當日皇太子殿下には東郷提督の幕僚なる御資格を以て海軍大佐の御略服にて御參列あり、また常宮、周宮兩内親王殿下を始め奉り有栖川、伏見、閑院、東伏見、北白川、梨本、久邇、山階、伏見若の各宮妃及び姫宮十三殿下には橫濱に成らせられたり、この日は空前の大觀艦式御擧行のとて橫濱大森間は殆ど人をもて埋めむばかりの盛觀を極めたりき

◎兩宮の御凱旋　海軍大佐東伏見宮依仁親王、海軍少佐伏見宮博恭王兩殿下は去月二十七日午前十時十二分新橋着列車にて御凱旋あらせられたり、停車場并に沿道には各宮殿下を始め奉り官民の奉迎頗る多く滿都の各戸亦た盛飾してこの名譽ある兩殿下を迎へ奉れり

編輯主任文學士下田次郎氏
女子教育
第二卷第六號　十一月一日發行　定價十五錢
我が國婦人雜誌中最も程度高く讀みごたへあるもの
發行所　東京市神田區錦町一丁目十番地　明治書院

洋食料品
洋菓子化粧品
亞米利加屋
村上堅吉
神田區今川小路二丁目四番地

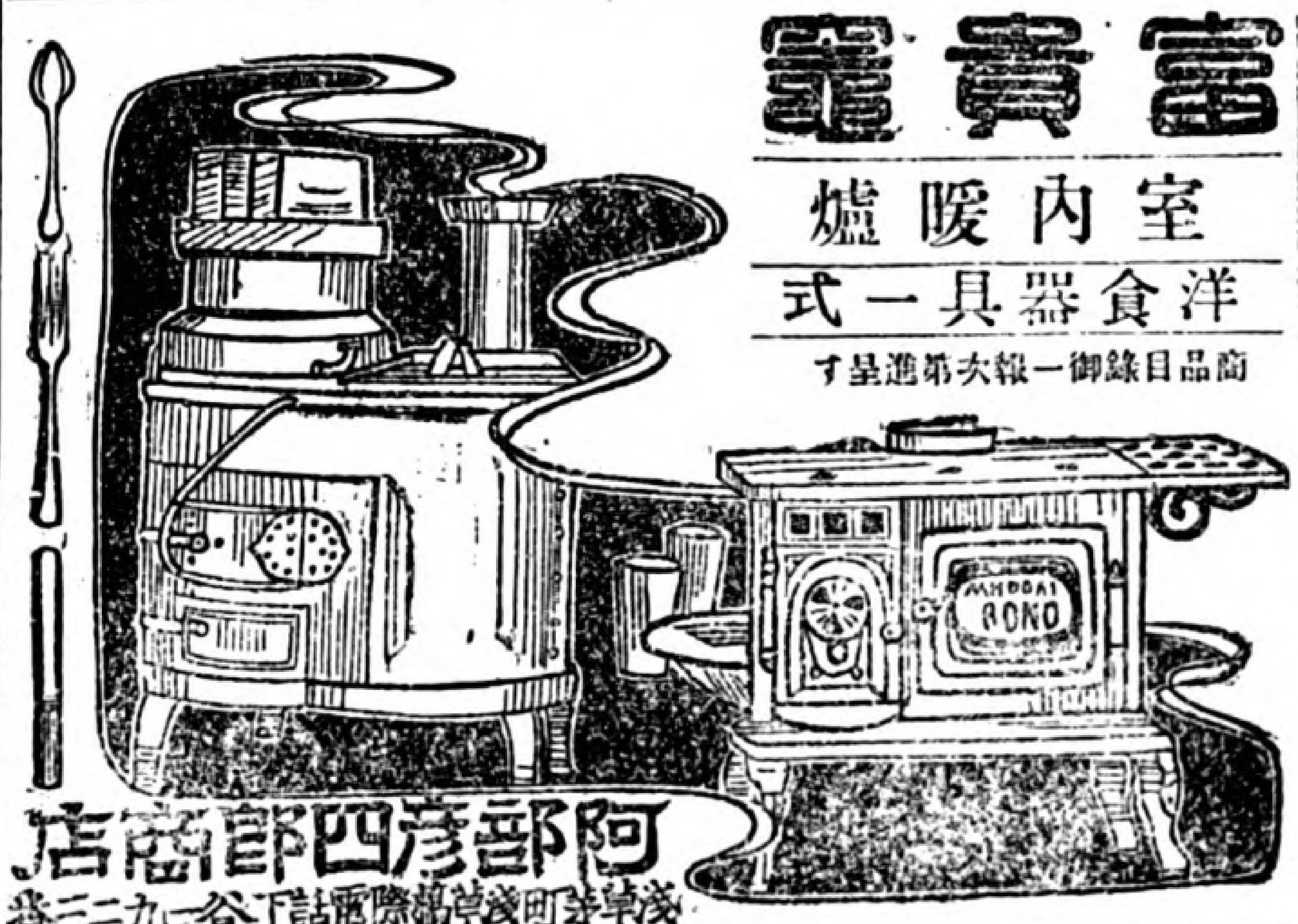
洋酒食料品雜貨卸小賣
東京神田南神保町十三番地
櫻屋商店
（電話本局二四五二）

芳香の永く保つ點に於て高評なる
ムスク香水
芳香無比
○夏秋季の贈答品として婦人の最も嬉ばるゝ佳品なり
○有名なる賣藥小間物化粧品店にあり
（大瓶一圓　中瓶六十五錢　小瓶二十五錢）

（中瓶全景）　（小瓶全景）

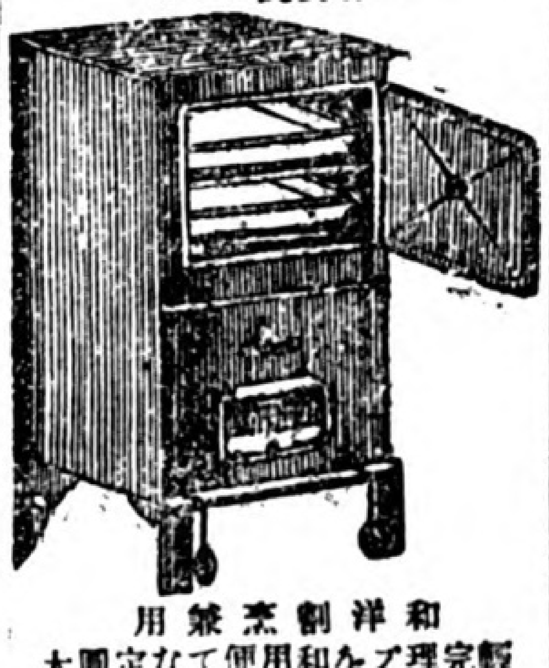
東京日本橋區本石町四丁目
松澤常吉香水部發賣

富貴竈
室内暖爐
洋食器具一式
商品目錄御一報次第進呈す



阿部彦四郎商店
淺草寺町淺草橋際電話下谷一九二三番

特許
輕便料理ストーブ
一名改頁テンピ



和洋割烹兼用
輕便にて完全に料理ストーブの効用を爲す、和料理に用ひて極便利にして頗る妙なり
定價小四圓八拾錢　大六圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◎教員檢定本試驗　師範、中學、高等女學校教員檢定本試驗は明四日より施行せらる其の日割は左の如し

十一月四日　數學(算術、代數、幾何)　博物(植物)　▲六日　博物(植物)　家事　▲七日　博物(動物及生理)　▲八日　修身、裁縫　▲九日　博物(鑛物)　裁縫、音樂　▲十日　裁縫、音樂、手工　▲十一日　數學(算術、代數、幾何)　手工　▲十二日　體操(兵式體操)　▲十三日　數學(算術、代數、幾何)　體操(兵式體操)　▲十四日　數學(算術、代數、幾何)　體操(普通體操)　▲十五日　數學(算術、代數、幾何)　▲十六日　數學(算術、代數、幾何)　▲十七日　修身、數學(算術、代數、幾何)　▲十八日　數學(三角法)　圖畫(用器畫)　▲二十日　教育圖畫(毛筆畫)　▲廿一日　物理、圖畫(鉛筆畫)　▲廿二日　物理、化學　▲廿四日　數學(解析幾何)　▲廿七日　數學(微積分)　圖畫

歐洲北部の寒地に住めるラプランド人の子供の運ひ方（其一）

◎看病婦養成　東京帝國大學附屬醫院に於て看病法講習生四十人を募集し看病婦を養成す志願者は來る十五日までに出願すべし年齡は滿二十三年以上三十年以下の女子にして家事に係累なき者試驗科目は讀書(院內規則書類)作文(簡易の往復文)算術(加減乘除)體格檢査等なり、入學試驗に合格したるものは一ケ年間官費にて學科の講習をなし卒業の上は三年間は同院に勤務する義務あるものとす尤も食料宿舍等は病院にて給し其他日給拾貳錢より漸次三拾八錢まで給す尚ほ三年以上は本人の望みに依り勤續するも隨意なり

その二

◎女子奎文美術學校　牛込區市ヶ谷河田町なる女子奎文美術學校は裁縫、刺繡、繪畫、彫塑、造花、編物等の學科を置き教授には文學博士小杉榲邨、村上、內海、佐藤、木山等の文學士並に圖案家の泰斗福地復一氏等あり目下生徒の募集中なり尚ほ藤田文藏氏同校に關係ある如く噂するものあれども同氏は全く同校に關係なしといふ

◎婦人衞生會　東伏見宮妃殿下を總裁に仰ぎ鍋島侯爵夫人を會長とせる私立大日本婦人衞生會にては明四日午后一時より大隈伯の庭園にて秋季懇和會を開く由

◎女子職業學校々友會　神田一ッ橋通なる共立女子職業學校にては來る四、五の兩日を期し校友會を催し各科生徒の授業を觀覽せしめ且つ其製作品を販賣し利益の幾分を軍人遺族の救護費に寄附する由

◎東亞佛教會女子部　同部にては去月二十八日神田區雉子町東亞女學校內に於て講演會を開催したり

◎巢鴨病院內園遊會　巢鴨病院內に婦人のみを以て組織設置さるゝ精神病者慈善救治會第二次總會は去月二十九日を以て開催し會務の報告並に役員補助選擧を了りたる後園遊會を催したるが餘興には太神樂、茶番、音樂、演劇、講談、落語、手品等ありたり

◎寫生旅行　芝公園なる日本女子美術學校職員生徒五十名は先頃日光地方へ寫生の爲め旅行をなしたり

◎女子大學運動會　女子大學秋季運動會は去月二十八日を以て開催したり

◎女子師範運動會　小石川區なる女子師範學校秋季運動會は來る七日開催すべしとなり

◎第二高等女學運動會　第二高等女學校秋季運動會は來る五日を以て開催の筈

◎二葉幼稚園　現在幼兒數は四十五名なるが內男兒二十六名女兒十九名にして兩親の職業別にすれば車夫の兒二十、大工二、左官二、魚賣二、土方二、疊職一、箱製造二、靴職一、工夫二、砲兵工廠工二、馬丁一、指物職一、青物屋一、雇書記一、出征者二、古物商一、小使一等にして母親の內職せる者二十九名なりと

◎ゾンマンイン孃　ドクトルヘンレ氏と共に來朝し澁谷分院に於て獻身看護の任に當り我が勇猛なる負傷將卒の慰藉となりしゾンマンイン孃はヘンレ氏の歸國と共に去月二十八日橫濱出帆のプリンツアリス號にて歸國の途に就けり

米國の北部に住へるエスキモー人の子供の運ひ方

家庭曆（十一月）

●一日　爐開き(茶家風呂を仕舞ひ爐を開く)　●三日　天長節　▲五日　靖國神社祭典(本日より三日間執行、太神樂、能樂、相撲等の餘興あり)　▲六日　初酉(各所の鷲神社にて例祭を催し熊手、大頭芋、五色餅等の緣喜物を商ふ吉原田圃殊に賑ふ)　▲八日　鞴祭(鍛冶屋銅壺屋祭を行ふ)　▲愛國婦人會理事會(九段牛ヶ淵公園同會本部にて午後二時より)　▲十五日　七五三の祝ひ(三歲、五歲、七歲の男女祝着を飾りて產土神に參詣す、　▲十八日　二の酉(初酉と同じ)　△向島秋葉神社鎭火祭執行　▲二十二日　愛國婦人會評議員會(本部に於て午後二時より)　▲東本願寺報恩講(二十八日まで)　●二十三日　新嘗祭　▲二十四日　西本願寺報恩講(二十八日まで)　▲三十日　三の酉(初酉并に二の酉と同じ)

紀念ピン定價表

(1) 旭日形銀鍍七寶入　七十錢
(2) 星に櫻形銀鍍金消　三十錢
(3) 軍旗形七寶入　四十錢
(4) 海軍形銀鍍消　廿五錢
(5) 蜻蛉形七寶入　三十錢　同金消　廿五錢
(6) 金鵄形十八金七寶入　五圓　同銀鍍　七十錢
(7) 櫻花形七寶入　二十五錢
(8) 博愛形七寶入　四十錢
(9) 日章旗七寶入　四十錢
(10) 菊花形七寶入　四十錢
送料一個三錢、小包十錢、臺灣淸韓廿錢

前編發行
伯爵夫人
田口掬汀著
口繪　精巧原色寫眞　鏑木清方君畫
表紙　金箔三色摸樣　平福百穗君畫
總クロース裝釘最美本
定價金八拾錢小包料金拾錢
清醇なる愛情偉大なる力とは此小說なり眞實なる幸福の何物たるかを知らんとする人は來つて此一大雄篇に聞け諸君は縹渺たる詩趣に飽滿すると共に永久不變なる活きたる教訓に接するを得べし
發賣元　東京神田表神保町　東京堂　同市同區裏神保町　上田屋

婦人　中將湯　藥王
子宮病　血の道　產前　產後　のぼせ　頭痛　腰足冷込　下腹痛み　月經不順　白血　赤血　其他婦人病一切の特効藥
定價　三日分二十錢　一廻分四十五錢　二廻分八十五錢　三廻分一円廿五錢
東京日本橋區通四丁目
本舖　津村順天堂
支店　大阪堺筋大寶寺町南入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特約販賣店

大阪京東區瓦町四丁目
服部富三郎
特電話東七〇二

大阪市東區淡路町四丁目
吉阪元次郎
特電話東一三六二

本品は絹裏製にして最も優美高尚の品に有之候
本品は丸形○平形○(鶴オシトリ)羽根付の三種有之候
本品には一々如上圖商標を付し候間御買取の節は御注意被遊度候

コクカツーショール

本品は全國到る處洋毛織物店西洋雜貨店。洋小間物店等總てショール(肩掛)類を取扱居候店には陳列致し有之候間御最寄にて御高覽の榮を賜り度候

東京市日本橋區本町二丁目
中喜ネル店
特電話本局七五〇

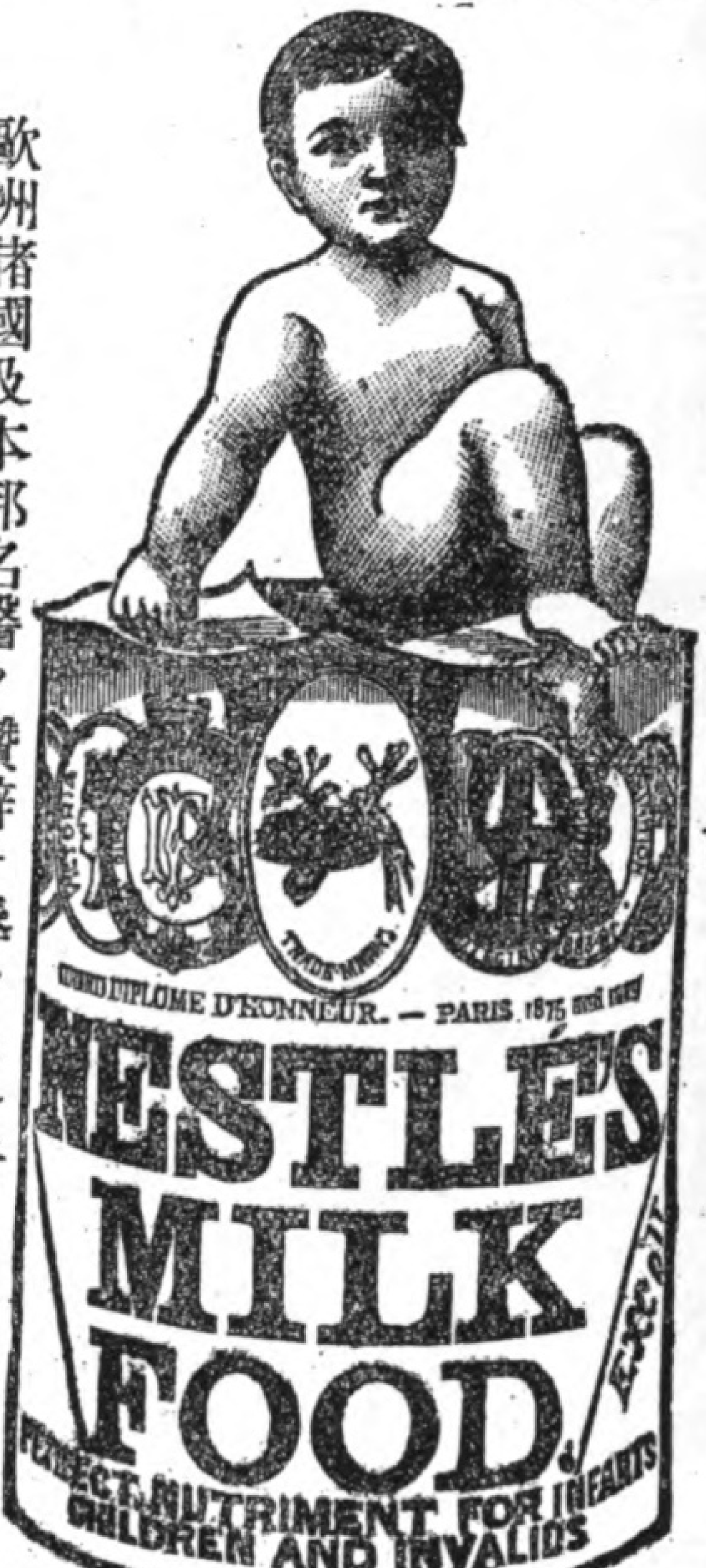
大阪市東區心齋橋筋安土町四丁目
中喜支店
特電話東一七九〇

東京製絨株式會社
日本フラネル製造株式會社
島田毛織物製造所
品川織物株式會社
製品特約販賣店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各國帝室及ヒ王家御用

ミルクフウド



歐洲諸國及本邦名醫ノ讃辭ヲ辱フセル者ナリ小兒、病者又平素不消化ニ苦ム者ニ過當ナル最良滋養食物ナリ。

最モ盛カンニ藥舖洋酒食料品店ニ於テ販賣ス

醫學博士弘田長先生閲　文學士上田敏先生序

醫學士唐澤光徳先生著

育兒の話

全一冊

圖書插總ふりがな附入　正價金五十五錢　郵税金六錢

本書は母乳と牛乳○萬久里○授乳の始と回數○乳ののませ方○小兒の睡眠と大小便○母乳の禁止○離乳○乳母の歷史○乳母の選定法○乳母と子守○牛乳と細菌○牛乳の腐敗と防腐器○牛乳貯藏器と容器の洗濯○牛乳のうすめ方と哺乳量○人乳と牛乳の併用○煉乳○小兒粉○ちゝこ○煉乳のうすめ方と其撰擇○衣服○しめし○小兒の住室○入浴○玩具○暑中及冬期に注意すべき疾病○吸入器○濕布繃帶○傳染性疾患の注意○育兒院のすゝめ○等を言文一致を以て最も懇切に總ふりがなを以て説かれたるもの加ふるに精巧なる插圖を以て説明の足らざるを補へり

◉發行所　東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂書店◉　電話下谷一六七二番

凱旋料理

譽れ高き我が軍さびと歸りこむ　いざ用意せよ凱旋の飯

嗚呼今や我が國民は何を以て凱旋將士の心を慰めん、せめては食道樂風の凱旋料理を學んで心盡しの珍膳を供すべし、凱旋飯の料理法は食道樂の附錄に委し

村井弦齋著

食道樂

春の卷　夏の卷　秋の卷　冬の卷　各一册八十錢　郵税十錢

右四册合本製は美麗洋綴にして非常廉價正價金貳圓也　郵税金拾五錢　臺灣清韓金四拾錢　附錄として料理心得の歌百餘首を加ふ、此の合本は印刷部數限りあり、速に御注文あるべし

發行所　東京市有樂町　報知社出版部・大賣捌・新橋堂・東京堂・東海堂

新聞の新聞

◉時事新報　彼の支那艦隊の來訪と云ひコンノート親王の來朝と云び我は居ながら同盟國の厚誼重禮を受くるのみにて進んで是れに答禮せざるは情誼を充分に盡したものとは云へぬ故に我輩は旅順に日本海に空前の偉功を奏し世界を驚倒せしめたる名譽の軍艦を以て新たに一艦隊を組織し是に東郷大將を坐乘せしめて英國に派遣し以て彼の敬意を表したるに應答せんとを望むものである（十月廿八日）

◉日本　政府の戰後經營について論じて曰く我が戰後の經營は專ら大方針を財力養成に置かればならぬ軍備擴張の如きは後に回してもよい今回の如き時局の平和を見るに至りし源因は財力の不充分に起由して居るから此點を政務の大方針となす事が自然で適當の所置である戰後の結果朝鮮金州半島滿洲鐵道の保護等に要するが爲に軍備擴張は自然の結果と云ふ者もあるが陸軍は現在の如き多くの師團を置く必要なく海軍も英國と同盟に倚る故現在の勢力を補修する丈でよい何程軍備擴張案が通過されても財力の不充分なる軍隊は有事の日に十分の行動が出來ぬ事は此度の戰ひで感知する處であるから財力養成を第一の方針とするが緊要である（十月卅日社説）

◉毎日新聞　戰後經營の第一義と題して論じて曰く租税の改正教育の刷新軍備の整修等爲すべき事は多くあるが中にも其根本は只一つ外にない夫れは國民なして心力を調和に盡さしめ協同以て事に當らしむるより外はない日露の戰爭も是に依て成功したのである勞するものは報あり義務を盡せる者は之に相應する權利を得ればならぬ過日米國の名士ブライアン氏が云ふた言葉に兵役に服したものには之に選擧權を與へるがよろしいと云ふたが吾人も百万の貔貅を優遇するの最良法は參政權の分與にあると思ふ（十月二十九日）

◉讀賣新聞　凱旋門と云ふ題目の許に論じて曰く此戰爭による紀念は後世まで遺されればならぬが吾人の希望は帝都の要衝に偉大なる永久的の凱旋門を作らん事を希望する其建築の設計の二三を陳れば第一高崇偉大なるものたるを要す又其場所も運輸交通の不便でない處を撰ばればならぬ此事は誰れしも不贊成を云ふものはあるまい首都の面目上からも速に實行を要する云々（十月廿五日社説）

◉報知新聞　露國の動亂との題目の下に論して曰く變則の國會を制定して民怨を解く可しとなしたる露國は今や民衆不滿の爲めに大動亂を見る事となつた此亂を見ても帝國は教訓を受くる處がなくてはならぬ即ち帝國の閥族が主持する官僚政治の國を誤るを證する一大資料なり國民は此活教訓に顧みて戰後の內治外交に處するの方針を定め內に立憲主義を確定し外に帝國主義の伸張を勉めればならぬ（十月三十日）

◉東京二六新聞　戰死者を優遇せよとの題目の下に論じて曰く戰死者の名譽表彰の方法は當路者夙に規畫する處あるが遺族救護の方法に至つては更に施設經營する處なくてはならぬ其方法には種々あつて必しも金錢を與へずとも英國の如く住宅を建築して遺族に與へてもよい要は戰死してもこれを遺憾とせぬ程の設備を要する云々（十月廿七日社説）

高等女學通信教授目下入學の好機

大日本淑女學會

講義錄第一號　十月廿日發行

（規則）詳細なる規則書を要せば端書にて申越さるべし直ちに郵送するものとす

本會講義錄之特色

▲女學通信教授　事情がありて高等女學校に入る事の出來ぬ人の爲めに『女學講義錄』を發行し僅かに二ヶ年の間に、高等女學校の程度の教育を授けます。近頃都門學生の風儀が大變に紊れ。婦人の遊學は益々危險になりました。此場合女學講義錄ほど安全な修學機關はありますまい。

▲講義と學費　本會講義錄は文部省の全課程を説くのは勿論ですが。更に本邦家庭の事情に照し。一家の主婦として缺くべからざる實用の諸科を説きます。それから本會の會費は最も少額で。都會一ヶ月の遊學費があらば優に全期を終る事ができます。

▲興味多き講義錄　世間の講義錄は皆乾燥無味で少しの面白い味がありません。本會講義錄は此點に注意し。諸學科の講義且つ有趣有益なる數十頁の雜錄の外に。名高い文士の筆になつた清い美くしい。家庭小説を毎號附錄とします。

▲親切なる講師　本會の講師は皆斯道專門の大家で且つ教育に充分經驗のある方のみです。講義は。只親切と云ふ事を主として丁寧懇篤に説いてありますから。本會々員は親しく講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です。尚博士學士等三十餘家の科外講師があります。

◉東京神田南甲賀町十番地（電話本局三千四番）　大日本淑女學會

見よ!!!

▲音▲樂▲新▲報▲　▲菊▲花▲號▲

歡聲

◎天◎長◎節◎　◎發◎行◎

定價金拾五錢郵税不要　東京神田錦町三丁目十一番地　音樂新報社

特許　第五回博覽會賜褒賞

◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱

同機罐式据風呂

◎定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ

製造　日本橋區蠣殼町二丁目十五番地　名和商店

販賣元　神田區和泉橋通松永町十八番地　名和支店　電話浪花千百七十七番

英國新輸入　無毒製　最優原料　改膚艶美

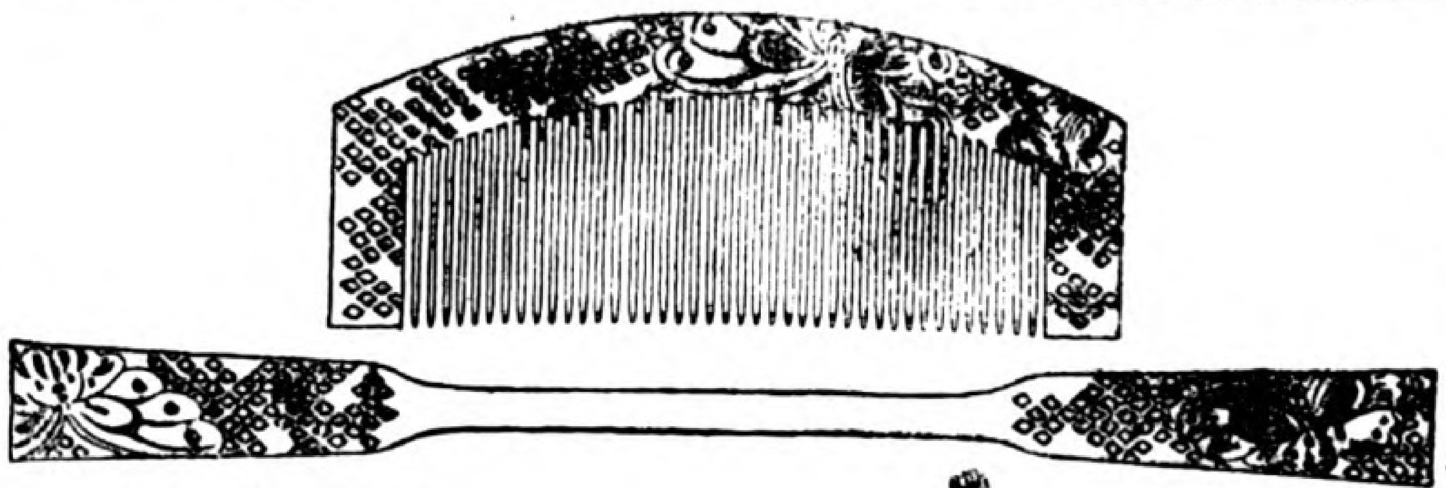
クイーンおしろい　クイーン水

本舗　花陽堂

取粗販賣は到る處の小間物化粧品店にあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

芝山入蒔繪櫛笄



柳の髪のうるはしきに眺めを添る月ならで四季を選まぬ櫛笄は花紅葉いろ／＼候へど今般新調致せしは黒鼈甲又は四方張を以て流行の中京形に造り之に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模様を蒔繪せしもの又は青貝象牙類を彫刻鑲入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんことを

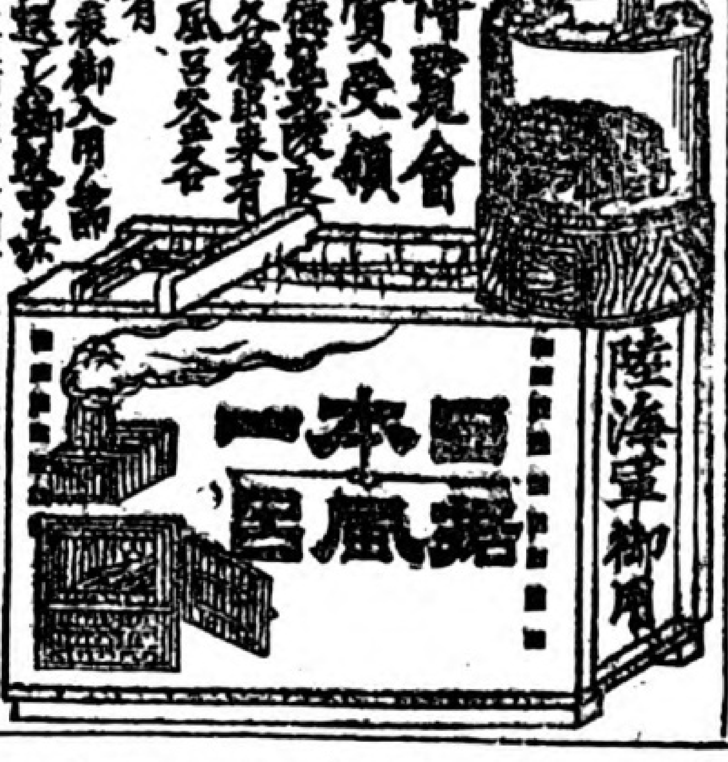
黒鼈甲臺一組價
十圓十三圓十五圓
廿圓以上五十圓迄
四方張臺一組價
三圓五圓六圓八圓
十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
電話新橋五五一番

正札附
廉價販賣
美術 小間物商
東京市神田區須田町十番地
三ツ井屋
電話本局二〇七六番
支店（新橋きわ博品館内 神田神保町東明館内）

りボン、ヘアーピン
サイドゴム

第五博覽會三等賞受領
桶箱風呂各種取揃有
大小出來有、
圖面並價表御入用之節



製造發賣元 東京日本橋區通油町十九（電話浪花一四六番）
銅器物問屋 南部鐵瓶販賣 石川商店

北辰社牛乳は最も滋養に富む
明治十九年二月十四日 一等褒賞を受く

北辰社精製のバタは味佳良
明治十九年三月十四日 一等鑑定狀を受く

◎雜誌の新聞

◎女子體育談　女性に對する教育法今日の如く非體育的になつたのは全く男性の好尚に在ることゝ信ずる即ち男性が女性に對する好尚時代風俗と共に變遷し尚武の氣象何時の間にか銷磨せると同時に文弱華奢の風忽ち一般に浸潤し世人の美人觀の標準が變更して來遂には女性をして今日の如き非體育的のものとなつたのである故に女子の體育を盛んにするには先づ以て男子の誤れる美人觀よりして根本的に破壞せねば其効はない（なんな五ノ十加納子爵所論）

◎戰後の教育　戰後の教育に關する大方針としては從來の美點長所を保存すべきとは固よりの事であるが尚ほその外に殊に留意すべき點は下の如くである（一）立憲政體の眞義を會得せしめ臣民各自を充分に覺醒するの美風を養成する事（二）實業教育を奬勵すると同時に眞成の商業道德工業道德等を發揮する事（三）海外雄飛、永住土着、拓植經營の勇猛的企業心を培養する事（四）外人畏怖の迷妄を拂滅する事（五）社交を盛んにして別して内外紳士淑女の交際を頻繁にし而して其の間に超然として交際官的ならず式部官式ならざる大外交大社交術を工夫する者あるべき事（時代思潮二十一、谷本富氏所論）

◎戰後の女子教育　戰後の女子教育は如何なる方針を執つてよいか從來のやうな良妻賢母を作ると云ふ方針ばかりでは行かぬ良妻賢母とは誠に無意味な說である婚嫁期に達して配偶を得て一家に風波が立たなければ夫れで宜かつた今までとは違ふ戰後の經濟的機關は左程に女子に安樂を與へぬ是れは獨くあるべきが當然である然らば如何に女子を教養すべきやと云ふに夫れは生存上男子の附隨物として立たず同等の生産力を有するか若くは少くとも常に此種の覺悟を有するやうに教養せねばならぬ左れど生存主義のみを以て教育の本旨とするを厭ふ人はパンのみが糧ではないから彼の美的修養の如き乃至道德的訓練の如き人格的自覺を喚起する教育に生存的概念の光輝を認知せしむるもの是れ戰後に於ける女子教育策の眼目である（教育實驗界八、宮田修氏所論）

◎子供の唯一の武器　父母が第一注意すべきは子供の我意我慢強情を抑制する事でありますが是らの惡性質は第一着に其叫喚號泣に依つて發表されるのですこれが子供に取つて唯一の武器であるから之を以て彼は如何なる目的をも果さうとするのであるから父母はかゝる場合に巧に其鋭鋒を避けて子供の注意力を他の方面に誘致するを得策とする時には鞭韃を用ゐて父母には絶對的服從義務あることを知らしめねばならぬ（日本の家庭二ノ二號大村仁太郎所論）

◎男女性と親子の愛情　人間及動物の腦には親子の愛情の機關たるべき一定の部位を存するもので此部位は後頭葉の最後部の廣き太き廻轉に存すと云ふこの部位の發育に伴ふ顱頂骨の後外部即ち入字形縫合角附近に於て著しき膨隆を來すもので此機關は男子よりも女子に於て著しく發達せるを認め斯る場合にありては母は毫も其子を愛するの念無きも之に反して父大はの子供好きなりと云ふ（人性一ノ七號、メビウス所論）

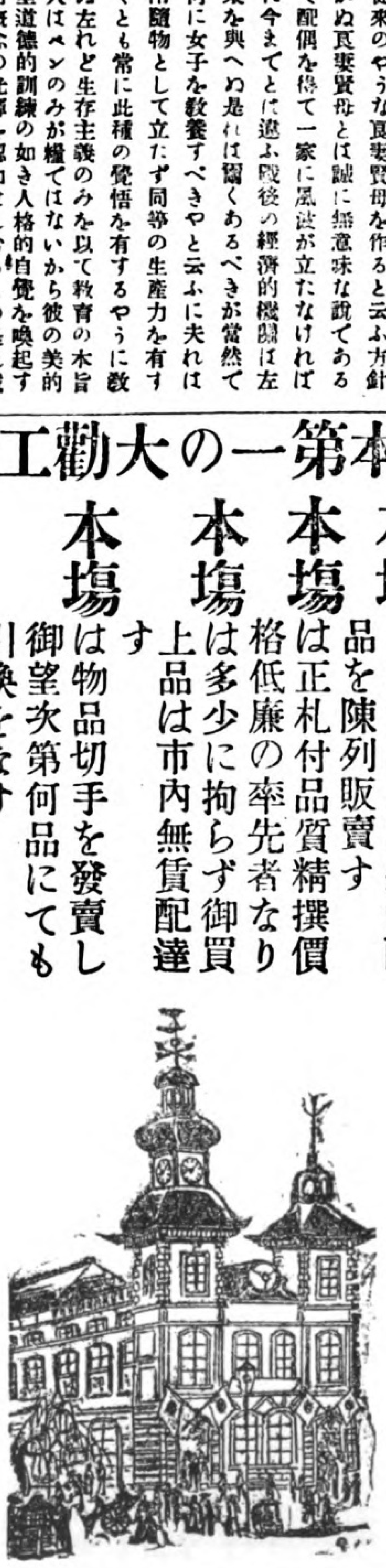
最上醤油元祖
上（ヤマサ）
釀造元 下總銚子町 濱口儀兵衛
荷扱所 東京北新堀七番地（電話浪花二五九四）濱口支店
○宮内省御用達也
○開業二百六十一年
○品質の吟味嚴重也
○風味他品に超絶す
○日本一の釀造高也
北海道函館末廣町 濱口支店
大阪西長堀南通一丁目電特（西二〇〇五） 濱口出張店

日本第一の大勧工場

奉祝天長節之佳辰
旋凱歡迎の祝意を表する爲め軍人に限り十一月五日まで特に一割引

本場の特色
本場はあらゆる内外の商品を陳列販賣す
本場は正札付品質精撰價格低廉の率先者なり
本場は多少に拘らず御買上品は市内無賃配達す
本場は物品切手を發賣し御望次第何品にても引換をなす

電話新橋一六五二 二二六一



東京新橋角 帝國博品館

帝國大學醫院
日本赤十字病院
各公私立病院
醫師處方調劑
神田區今川小路三丁目角
東京郵便局指定調劑所
尾澤純良堂
藥劑師 大西橘三 藥局
電話本局一千五百十八番

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

從四位淺田宗伯先生直傳　淺田飴

良藥にして口に甘し

だんせきに淺田飴　すきはら(空腹)にめし

定價　金五錢　金拾錢　金貳拾錢　金參拾錢

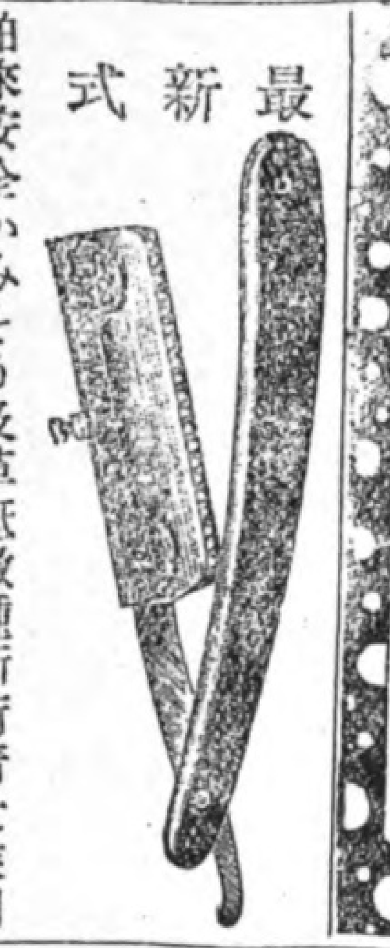
本品全國到る處の藥店に販賣す
東京神田鍛冶町　本家大阪北久寶寺町　堀内伊太郎

牛ゑり帶揚類　常冬期嶄新柄
元祿模樣季節草花鳥優美高尚好
○羽織裏○ショール○襦袢袖○長襦袢地
○下締め地○御祝用しごき地○元祿美人紐
○高等洗粉チエリー顏肌美白發賣元
有効受賞まげ形○ゑり治形○すゞめ形
新橋竹川町十二番地　本店ゑり治
新橋電話新二〇二七
神田表神保町壹番地　支店ゑり治
神田電話本局九五二
新橋際帝國博品館内階下ゑり治出張店

清心丹
旅行要藥として殊に風土変り水あたり舟車の不快等に最もよし
本舖　東京　高木

一嶄新高尚肩掛長卷
一巴里新流行高等婦人帽子。並にボーア
一英國ビーハイ印毛糸並に玉スコッチ
一凱旋軍隊玩具各種
一洋花。リボン。レース流行コム櫛。香水石鹸白粉　其他西洋小間物一式
伊勢與　三枝小賣店
東京市京橋區銀座三丁目　電話新橋三九二七

登録商標　薔薇麝香入　水晶おしろい　無毒薄化粧
東京通塩町　大和屋　大賣捌



最新式
舶來安全かみそり及革砥數種新荷着仕候間御用命希候
佛蘭西式錨印　髮刈器械各種
和製舶來　裁縫はさみ各種
定價表は御照會次第直に送呈申上べく候
東京市日本橋區てりふり町電話浪花八五七番　まどや

◎世界のしんぶん

◎テームス河　は我同盟國首府ロンドン市附近を流るゝ川にて盛大なる湊なるが此の湊よりは日々五百隻の商船世界各國に向け出發するといふ

◎女人禁制　の場處外國にもあるは面白き事なり　スエズ運河の近傍のシナイ山といふにあるセント、カトリーン會堂には既に一千四百年間女人の立入りたる事なしといふ

◎砂漠の燈明臺　何れの海圖にも載せられざる燈明臺あり是は北米アリゾナ州の砂漠にありて通行の人に清冽の水を與ふる泉のある處を示すものなりと世界一品の建物なり

◎駝背國(せむし)　西班牙國は他國に比類なき多數のせむしの居る國にして全國シエラモデナ州の或る村にては百人につき七人は此病にかゝれるものありと

◎梟目の人　北米合衆國マサチユセツツ州ヒツブルグ市に現れたり此人近く其妻を失ひ其墓に行きて大變に哭きたるより眼の調子異りて夜分は明かに物を見る事を得れども晝間は何も見えずとぞ此人は晝間眠りて夜起き出づといふ

◎大夜光玉　南亞弗利洲のトンスバール國プレトリヤ市にて發見せられたり此玉ロンドンに送らるゝ時惡漢の知りて盜む事を防がんとして何氣なく小包郵便にて送りたり其價も一圓五十錢許りと記されありしと此玉今は或る銀行の秘密庫に入れられ嚴重に守られ居ると重さ百八十目に餘り其値も約五百萬圓なりといふ

◎ロンドン市　にては每夜露天に睡りて家なきもの六千人に下らずといふ大都會の裏面は誠に哀れなるものなり

◎小兒の生存數　南洋ニユー、ジーランド島は世界第一等の氣候よき處の由なるが全島にては千人の出産に付き九百八十九人迄は育つなりと是を他國と較べ見るに濠洲ニユーサウスウエル州にては八百五十人、全ヴイクトリヤ州にては八百四十四人、アイルランドにては八百三十七人、英國にては七百六十二人、フランス國にては七百五十一人、オーストリヤ國にては六百十四人、スペイン國にては五百七十一人の割合にて育つなりと小兒は隨分澤山に死ぬるものなり

◎新洗濯法　は石鹸なしして衣類を洗ふ法にてハンガリヤ人の工夫なりとぞ、水中に電氣を通じ其水に衣類を洒す時はしみ、よごれを去るに妙なりといふ其器械による時は十五分間足らずにて三百枚の衣服洗濯せらるべしといふ

◎大寫眞　北米國シカゴ市に於て一寫眞師の撮りたるものは世界第一の大さなりといふ、此寫眞はドーウイーといふ人の作りしものにて全く引延してなく大さ八尺に四尺ありといふ

ライオン齒磨
第五回内國勸業博覽會
米國聖路易萬國大博覽會銀牌受領

東京　小林富次郎
大阪　小林支店

兩貴顯凱旋御尊影紀念　御國の光　意匠斬新　コロタイプ多色版
兩陛下御製◎宮城二重橋◎京都紫宸殿之圖等頗る高尚優美の繪葉書本品は今回凱旋將士へ紀念として數百個を獻納し大捷國民の紀念には無比なりと賞賛を賜り其筋より夥敷御買上の恩命を蒙れり◎贈品土産物賞與品に最も適當(たとふ入)特價金卅錢
取次望方は至急乞申込
發行所　東京神田鍛冶町四番　誠之堂書店（電話本九四九）
多數御注文は特に御割引

陸軍御用　專賣特許　空氣暖爐

◎本器は滿韓樺太等に於て防寒用として缺くべからざる要器なり
本器は少量の炭を以て空氣の作用に依り強烈なる溫熱を發する世界唯一の暖爐なり
特製一個　金六圓二十錢
並製一個　金五圓四十錢
荷造實費箱代一個金四十錢申受候
◎本器說明書は御一報次第進呈す
製造發賣元　東京市淺草區諏訪町一番地（特電話下谷八三二番）　小原商店本店
關西發賣元　大阪市南區安堂寺町御堂筋（特電話東四六二番）　小原商店支店

登録商標　さ
佐竹組糸舖　東京よし町

各女學校御用
美術造花材料各種
東京日本橋區横山町一ノ十六
天野卯兵衛商店
(電話特浪花一六四三番)
營業案内は往復葉書にて御申込次第送呈仕り候

私立 日本音樂學校 生徒募集
東京市神田區錦町三丁目十一番地

かすり江
紺かすり各種
紡績絣。金城絣。米澤絣。大島絣。秩父絣トモ
外縞物いろ〳〵
大京屋

高尚で通俗 實際で親切
第十一號 六月一日發
●成功を祈る人は先づ妻君を教育せよ●
明治の家庭
ねんねーたね(口繪)●子供の土産物につき●食物が消化する時間●天長節の子供歌●疳癪を直した青年の談●子供にはやる飛火病●子供の育方(面白い質問澤山)●家事いろ〳〵●松茸の新料理●みにくい嫁をとった主人の自白●自治心を養ふ加減●黄豆四色
毎月一回 一冊六錢 六冊郵税共三十三錢 一年十二冊六十錢
發行所 東京市牛込區納戸町六 明治の家庭社

増補 再版
愛國婦人會例規類集草案
一部金拾貳錢
(愛國婦人會幹事方の必讀書籍)
愛國婦人發行所

鹿齒磨は
煉と粉の二種あり
本品の特色は齒牙の保全と口中の爽快
東京馬喰町 花王石鹸本舗
長瀬富郎
電話浪花三番

優効 明眼水 目藥
トラホーム根治劑
効力無限諸眼病の根源を治し眼力を強め近老眼の度を減じ自然諸眼疾を豫防す
●定價 小拾錢 ●大廿錢 ●壹圓 特製五十錢 ●送料四錢三錢
東京市京橋區南鍋町 十字藥舘

京染御半ゑり帶止類
十一月一日より十日迄大賣だし
大見切半ゑり取揃申候
見切物の外麁景進呈
東京日本橋通り三丁目角
ゑりすゑ
電話本局二千九百四十七番

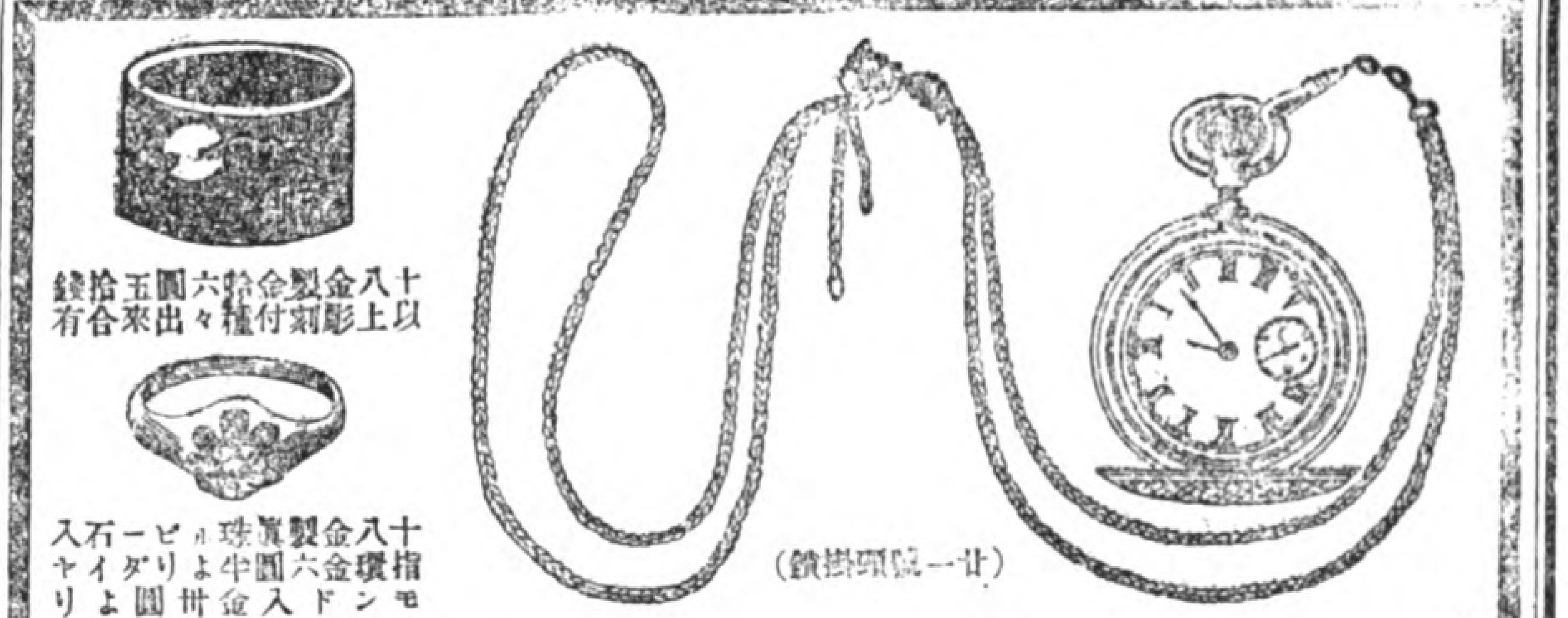
拾壹版 普通看病學
ドクトル佐伯理一郎著(總ふりかな附)
正價金六拾八錢▲郵税金拾錢

袖珍 戰時平時救急看護
ドクトル佐伯理一郎譯(挿圖百卅七)
正價金參拾五錢▲郵税金貳錢
下平文柳著(總ふりかな附)

二版 私宅看病法
下平文柳著(總ふりかな附)
正價金五拾錢▲郵税六錢

拾版 人體解剖生理
●看病法修業用
正價金五拾五錢 郵税六錢

◎發兌元 東京市本郷區龍岡町三十四 吐鳳堂書店◎



十八金製粉六圓五拾錢以上 彫刻付種々出來合有
十八金製眞珠ルビー石入 指環金六圓中よりダイヤ モンド入金廿圓より
(廿一號頸掛鎖)

◬瑞西國製貴婦人用金側懐中時計廉價發賣
金貳拾五圓……{十四金側兩蓋13 14形機械 寶石入り木傳ヘシリンドル}
金貳拾八圓……{右仝外側機械上等品}
金參拾圓……{十八金側兩蓋13 14形機械 寶石入りシリンドル機械}
金參拾五圓……{右仝上等品}
金四拾圓……{十八金側兩蓋13 14形機械 寶石入り向爪アンクル機械}
以上之外五拾圓より參百圓迄種々

◬米國製貴婦人用懐中時計
金參拾六圓……{十金斜子付及無地側十四形 機械金製場向爪アンクル}
金六拾八圓……{十八金斜子側兩蓋中蓋付14 形機械切天府二重舞向爪}
金七拾參圓……{右仝斜子及彫刻側上等品}
以上ダイヤモンド入金ぶ拾五圓より

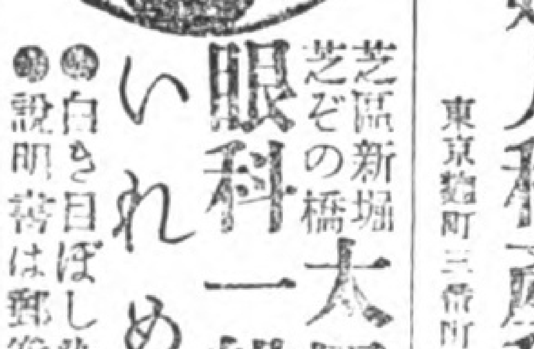
◬金製時計鎖胥通用及頸掛鎖
十八金製 廿一號形 金拾五圓
十八金製 廿二號形 金拾四圓
十金製 廿一號頸掛用 金拾七圓
十金製 二十號頸掛 金拾八圓
十八金製 廿一號頸掛 金廿九圓
十八金製 二十號頸掛 金卅九圓
十八金白金交り右仝 金卅參圓
十八金白金交り右仝 金五拾圓
****

本品は外觀の佳美と實用とに適ふの珍品にして貴婦人令孃用に至極好適の逸品なり今回最新流行品を吟味精撰し以上の廉價を以て發賣す乞ふ此の好機を不逸御注文あらん事を祈る
◉貴金屬美術品は何品に不限叮嚀親切を旨とし迅速調製す

代金引換御注文に應ず　前金爲替振込東京銀座局宛 {送料 凡廿錢}
大勝堂 東京銀座通り尾張町 特電話新橋二六四番

醫院案内(順ぐりの事)

婦人科産科榊病院
院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日夕刻診察
東京麹町三番町卅三(電話番町三九五)



芝區新堀芝ぞの橋 太田眼療院
眼科一般並に左の術は本院の特技也
●いれめ うごき自由 あきとじ自在
●白き目ぼし染法は一見如正眼
●說明書は郵券貳錢を要す

日本橋區濱町三丁目
福田病院

內科一般
四谷區北伊賀町貳番地
前宅診 后往診 青木醫院
正七位 青木錦之助

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麹町區錢瓶町(常盤橋内)
日本興業銀行
電話本局 三、三〇〇番 四一〇番 (特)三七一番 一〇二番
一定期預金 年五分
一當座預金 日歩七厘
一特別當座預金 日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年六分
當座預金 百圓に付日歩 壹錢
特別當座預金 同日歩 壹錢參厘

資本金千八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 一五三〇番 三〇番 三一九三番
同日本橋區新乗物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢

米國セントルイス萬國大博覧會銀牌受領
陸海軍御用
象印歯磨は品質にして衛生上及び歯牙に殊効あるの故を以て豫て陸海軍の御用品たる事既に江湖多數愛顧者の熟知せらるゝ所なりと雖ども今回の事局に際しては出征軍士の爲めに恤兵部の御買上品に選定せられ益々御用命を蒙るに至りしは本品の最も光榮名譽とする所なり
關西代理店 大阪 藤森源之助

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
◉品質佳良の肉類廉價に販賣候
◉配達は迅速に且つ正確に致候
◉滋養と風味の西洋料理調製候
◉西洋料理出前は格別相働き候
◉米店は精撰の白米廉價販賣候
◉御注文は電話又は葉書で願候
小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二二七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

品質善良 衛生ト經濟ニ適ス
本舗 東京 長瀬富郎
米國聖路易萬國大博覧會名譽銀牌受領
關西代理店大阪大崎組商會

正札附陳列場
中久商店
西洋小間物 帽子各種 婦人用小間物 東髪用具 内外化粧品 病具文具
東京神田小川町通り 裏神保町一番地

東京日本橋區長谷川町 卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
本郷區本郷五丁目 小賣部 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店 電話下谷一四一五番
日本橋區佐内町 美濃磯内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
鳥山内科院
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地 電話京橋千七百四十六番

小兒病診療
淺草區福井町貳番地 宅診午前 往診午後
醫學士 内田慎太郎
電話下谷七一八番

山口眼科醫院
東京神田錦町參丁目 電本七一五
診察午前午後 入院隨時
院長 醫學士 山口秀高

内科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診 板垣亭
電話本局貳千九百七十番

醫學士 伊庭秀榮 (午前宅診 午後往診)
産科 婦人科 伊庭醫院
京橋區南鍋町一丁目一番地角

◎◎婦人科小兒科専門
午前宅診 午後往診
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫 鷲山彌生

産科婦人科専門 ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
一各科診察從前の通
東京病院
芝愛宕町 電新二六四

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

▲小兒學校生徒 診察種痘 毎日午前
東京内幸町一ノ三 電話新橋四七四
三島醫院長 醫學博士 三島通良

耳鼻咽喉病 診療午後 自三時至七時
淺草區北三筋町五九(小島町電車停留場際)
白木耳鼻咽喉科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年十一月三日發行(每月五日二十日二回)

洗用ワツセル

◎此ワツセルは油じみあか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◎用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脫ますシヤツの如きは(拾貳匁)入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗う用に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です

定價　拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

芳香御肌洗粉ワツセル

◎此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價最上 金七拾五錢 金貳拾錢　普通 五拾錢 六錢　參拾錢 三錢　拾七錢

英國製ワツセル日本一手販賣元　御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元　東京市京橋區三十間堀三丁目　三友商會　電話新橋千七百十二番

菊池幽芳著　鏑木清方画

夏子(愛と罪)

前編新刊　菊判洋裝彈堂特製釘飾　實價金七拾錢郵稅八錢

清新ある家庭の好讀物として玆に『夏子』を薦む。『夏子』は人生の意義を發揮せる光明小說也。『夏子』の聲は鏗鏘たる彩雲を洩るゝ女神の聲也。

發兌元　東京日本橋　春陽堂

製造及卸小賣　東郷造花店　東京本郷三丁目

歐米化粧品直輸入商　東京八マ町一(花屋敷向)　平尾賛平店

大日本女學會

◎本會は十年來女學の通信教授に任じ本會の敎を受けし者既に三萬二千人に及べり

◎本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を監督す

◎本會講義錄の學科は諸名家が多年の經驗にて面白く解し易き樣工夫せるものなり

◎本會の講義錄に高等科と簡易科とあり高等科は月謝四十錢簡易科は同二十錢なり

◎今度新學期を開き簡易科は十一月五日に高等科は同廿五日に孰れも初卷を發行す

東京市麴町區下二番町三十七番地　大日本女學會　電話番町一三三〇

◎詳細なる會則希望者は端書又は葉書にて請求あれ

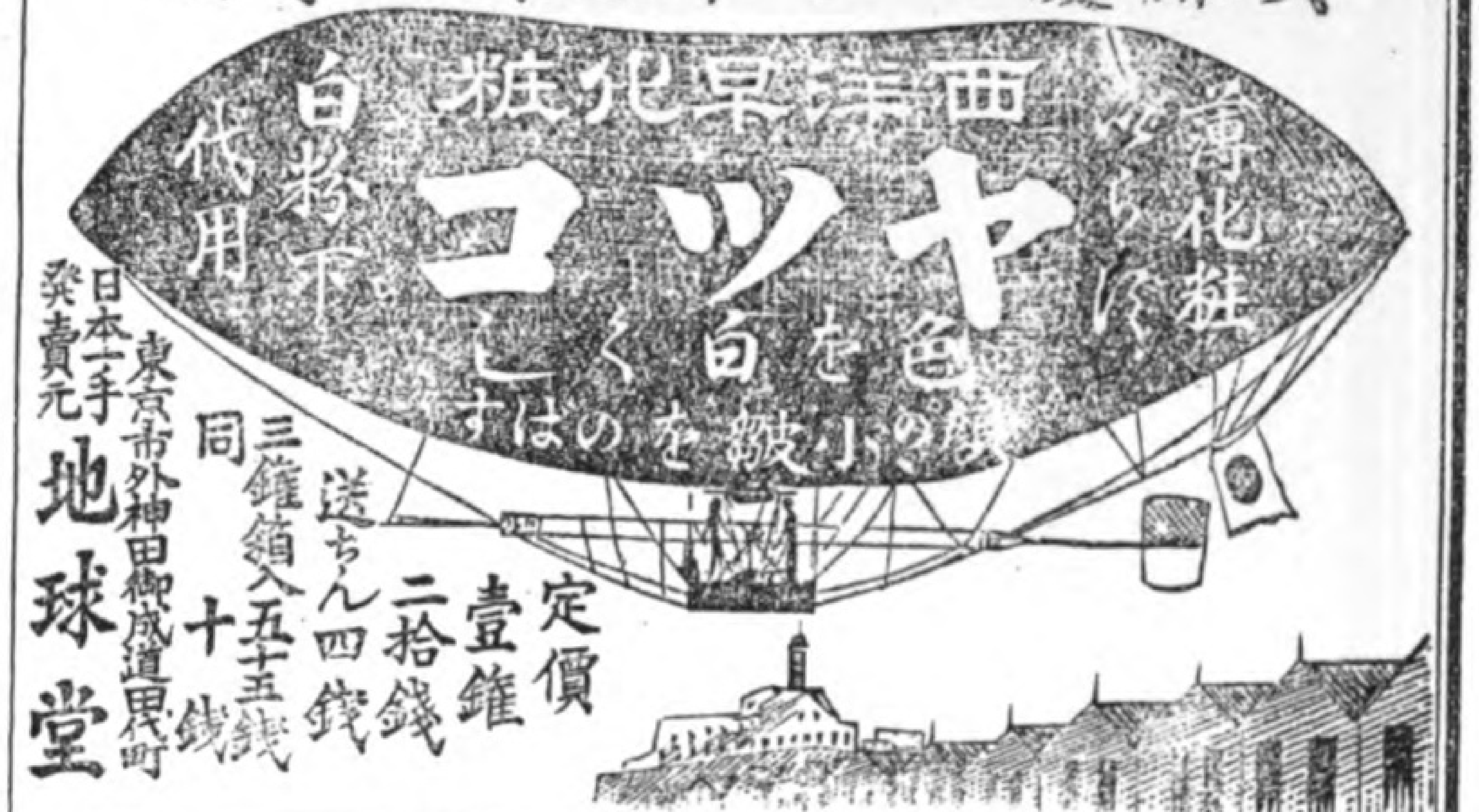
美人ムスク石鹼

此ノ形ナキ物ハ模造ナリ

美人ムスク白粉

輸入元　東京市日本橋區和泉町　桑原花生堂

女俳優マダム川上貞奴寄贈



定價　壹罐 二拾錢　送ちん四錢　三罐箱入五十五錢　同 十錢

東京市外神田御成道裏町　日本一手發賣元　地球堂

戰勝紀念ピン

銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價　純銀製 一個 金三十五錢以上　餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮內省御用達　玉寶堂　東京市下谷區池の端仲町　電話下谷 特九六五番 一二四四番

御婦人用裝飾品　筒付腰刺煙草入　煙管袋物類　各種

指環　ダイヤモンド、眞珠、ルビー諸寶石入、其他金銀彫刻類

簪類　金銀寶石入、薄肉彫　文字活用透し彫

各上等品及廉價御進物

帶止　ダイヤモンド、眞珠、寶石入金銀彫刻　其他新意匠品數種類

右各種取揃へ有之候の品

階上には商品見本として種々新規の品備え置き中候間御來觀奉希上候

東京日本橋區若松町　丸嘉屋　電話浪花七百六十八番

米國醫學博士ジヤス氏發明薬　齒藥之王　一六散　日本諸大醫實驗頌讚功能保証

齒の痛直に止る保証　齒の腐蝕崩碎を止る　齒の惡熱を去る　齒の動きを能く締る

價格錢廿錢送料貳錢　各藥店に取次　毒にならず口の荒も共に治る呑でもよし　東京木挽町九丁目八番地　木原山石堂藥房

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外	弘報堂
神田千代田町	博報堂
京橋區南紺屋町	一星社
京橋區八官町	廣告堂
日本橋區上槙町	萬年社
日本橋箱崎町	春風舍
京橋區宗十郎町	正路喜社
京橋區日吉町	帝國通信社
同區彌左衛門町	京華社支店

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年十一月三日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）

○右方上段

黒田評議員本會を代表してノーエル大將を英國公使館に訪問したる節撮影せられたるもの
和服にて腰掛たるは
評議員
侯爵夫人　黒田　清子
和服にて立てるは
評議員　武田　錦子
背後中央はノーエル大將次は英國公使マクドナルド氏

○右方下段

洋裝したるは先頃總裁宮妃殿下御名代として愛媛香川徳島三支部總會に臨場せられたる
理事
侯爵夫人　大山　捨松

○中央

先頃大山理事と共に愛媛香川徳島三支部總會に臨まれたる
評議員
男爵夫人　清浦　錬子

○左方上段

満韓軍隊慰問を了へて此程歸朝したる
評議員　奥村五百子
右方に腰掛けたるは西藏探險を了へて是また此程歸朝したる寺本婉雅師

○左方下段

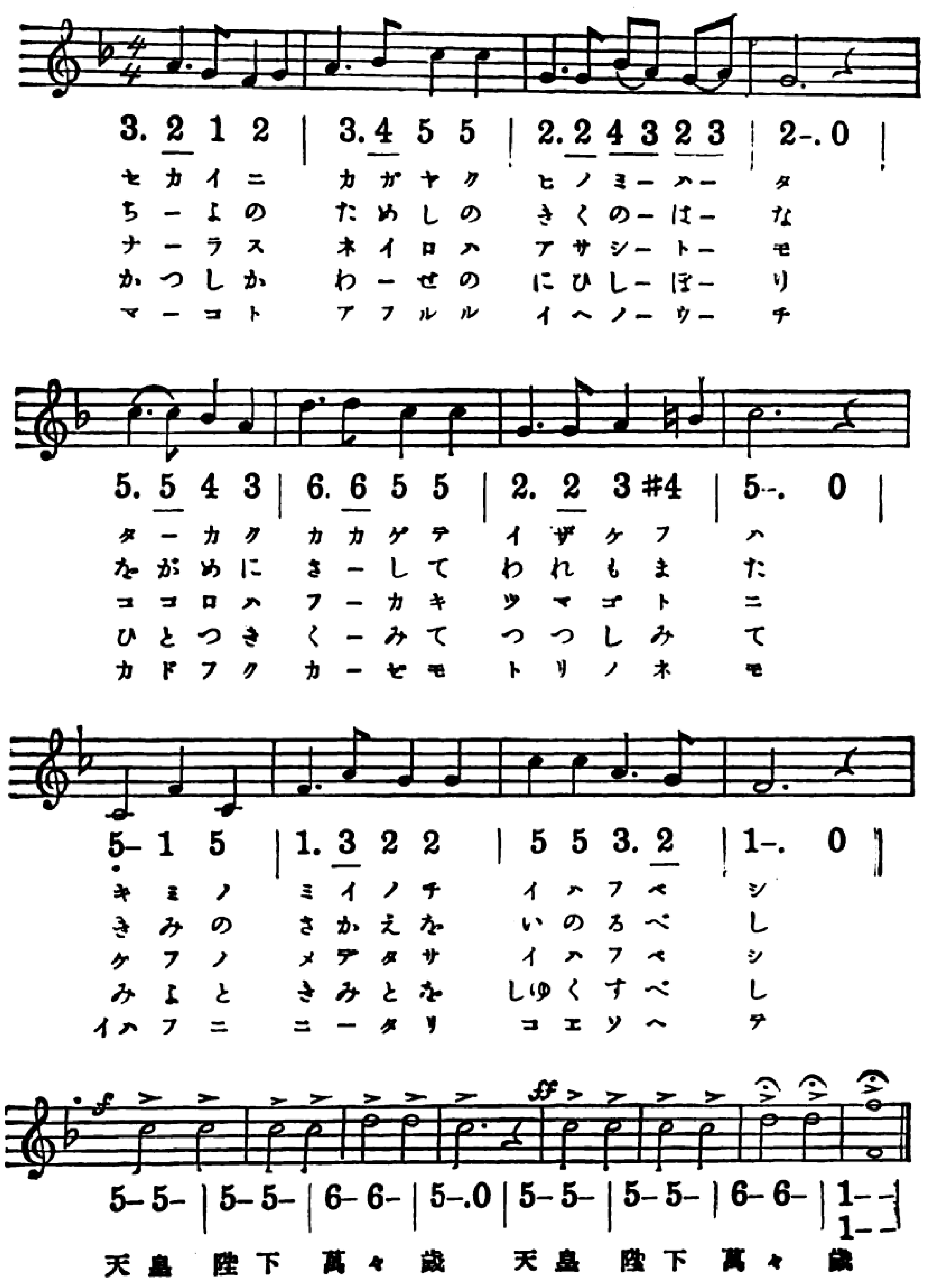
總裁宮妃殿下御名代として岩倉會長青森支部總會に臨場の歸途秋田縣大館停車場にて撮寫せられたるもの車中向つて右より
評議員　税所　榮子
會長
公爵夫人　岩倉　久子
評議員　東郷　鐵子
評議員　三輪田眞佐子

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社　秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

天長節

快活ニ



●天長節

作歌　武島羽衣
作曲　山田源一郎

弟「世界にかゞやく日の御旗
たかくかゝげていざけふは
天皇の御命いはふべし。
天皇陛下萬々歳。」

姉「千代のためしの菊の花
小瓶に挿してわれもまた
天皇のさかえをいのるべし。
天皇陛下萬々歳。」

母「鳴らす音色はあさしとも、
心はふかきつま琴に、
けふのめでたさいはふべし。
天皇陛下萬々歳。」

父「葛飾早稲の新酒
一杯酌みてつゝしみて、
御代と天皇とを祝すべし。
天皇陛下萬々歳。」

誠實溢るゝ家のうち、
門ふく風も鳥のねも、
いはふに似たり聲そへて、
天皇陛下萬々歳。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN